

Shibaura Institute of Technology

2023 June Vol.28

校友会 だより

創立100周年に向けて



桜香る4号館



初夏にたたずむ
5号館



明日に駆ける白亜寮



芝浦工業大学校友会の概要と活動について

全国の卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は校友会活動にご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年度も、コロナ感染の影響により校友会主催のイベントの多くが中止となり、また常任幹事会などの各会議もリモートやハイブリット方式の開催となりました。各支部におきましては少しずつ対面での総会が開催されるようになりましたが、まだまだ完全な形での支部総会の開催が出来ず中止や書面だけの開催を余儀なくされた支部もございました。

2022年度の全国総会・懇親会は全員着席スタイルでの開催でしたが、本年度は4年ぶりに通常の全国総会・懇親会スタイルで2023年6月10日（土）「グランドニッコー東京台場」にて開催いたします。

2022年9月に芝浦工業大学芝浦キャンパスの豊洲移転に伴い、校友会本部・事務局は豊洲キャンパス内の「有元史郎記念校友会館」（旧アーキテクチャープラザ）へ移転いたしました。

芝浦工業大学校友会は昭和3年に発足しました。現在、本部を東京都江東区に設置しています。支部は海外5支部（台湾・シンガポール・上海・タイ王国・韓国）、国内（北海道から沖縄）にお住いの会員で構成されている43支部、官公庁や一般企業などに在職・退職された会員で構成されている25の職域（企業）支部と2022年度新たに加入された芝浦建築会支部を含む学部・学科・スポーツ等の共通する会員で構成している同好会支部23支部、合わせて96支部が活動しています。

校友会の目的は会員相互の交流と親睦を深め、社会貢献に寄与する活動の支援としています。また、母校在学生への支援、教育事業を援助し、母校の発展に寄与する活動を行っています。

現状は支部と本部が連携して下記のような活動を行っています。

1. 在校生の就職支援活動
2. 在校生の研究・実習活動への協力、卒業生による「実学サロン」の開催
3. 在校生主催「芝浦祭」・「大宮祭」への支援
4. 新入学生（女子）への支援
5. 新卒業生への記念品贈呈
6. 母校開催の賀詞交歓会への協賛
7. 母校記念事業への協力
8. 箱根駅伝予選会出場への支援活動
9. 後援会主催イベントへの参加協力と交流
10. 校友会全国総会、賀詞交歓会の開催
11. 校友会支部への連携強化と活動支援
12. 「経営者懇談会」開催による芝浦工業大学校友会の強化
13. 資格習得講座の提供
14. 校友ラウンジの活用

本年度も各事業での協賛・支援などを含め、様々な活動を行ってまいります。

芝浦工業大学校友会は、在学生、後援会ならび大学関係の先生や教職員との連携を密にし、芝浦工業大学の社会的基盤を更に強固にするための活動をしてまいります。

最後に皆様のご健勝を祈念いたしますとともに校友会活動にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

目次

芝浦工業大学校友会の概要と活動について

役員挨拶	1
会 長	1
総務広報委員長	2
組織委員長	2
事業委員会	3
例規委員会	3
特別委員会	4
財務委員会	4
役員紹介	5
常任幹事会議長紹介	6
理事長挨拶	7
学長挨拶	8
箱根駅伝出場の支援について	9

しばうら人「ハンドボール部OB座談会」	10
shiba-jo プラチナネットワークご紹介	14
実学サロン	16
支部活動報告	18
“支部旗”全国にひるがえる	51
芝浦工業大学校歌CDの販売	51
常任幹事会、相談役・顧問名簿	52
支部及び支部長紹介	55
公開講座のお知らせ	56
銀座シシリア豊洲店のご紹介	57
大学生協カフェテリアのご紹介	58
校友会本部事務局紹介	59
大学オリジナルグッズのご紹介	59
在校生就職支援ご協力をお願い	60
編集者・協力者紹介	61
広 告	62

会 長 挨拶



芝浦工業大学 校友会

会 長

加 藤 善次郎

機械工学科 昭和 55 年卒

校友会会員の皆様、ご家族の皆様如何お過ごしでしょうか。2020 年正月明けの新型コロナウイルス感染報道から 3 年以上の月日が過ぎ、社会生活も少しずつ平常を取り戻そうとしていますが、未だ完全終息には至っておりません。くれぐれもご自愛頂きますよう切に願います。

さて、私はその 2020 年 7 月、鈴見前校友会会長（現理事長）の後を引き継ぐ形で、校友会の会長に就任し、今年で 3 年が経過しようとしています。この間新型コロナウイルス感染防止対策を第一に皆様との交流も中止や延期、それでも可能な限り支部総会、各種委員会の開催実現を目指し、書面による開催やオンラインによる開催をお願いし、何とか校友の和が途切れないように皆様にご協力を賜ってまいりました。皆様には改めて御礼申し上げます。

校友会は昨年、3 年ぶりに全国総会、懇親会を感染予防対策に万全なる対策を取った上で対面式にて開催をさせて頂きました。皆様と直接お会いすることができ大変感動しました。また、感染者を一人も出さずに閉会することができました。ここに、改めて皆様に心より感謝申し上げます。令和 5 年度の全国総会・懇親会は感染症発症前の体制に戻し、6 月 10 日（土）ゆりかもめ台場駅直結のグランドニッコウ東京台場で成功裏に開催されていることと思います。皆様との再会に改めて感動していることと思います。なお、この校友会だよりは全国総会開催後に各支部へ配布されますので学内情報や各支部の活動状況などをご覧ください。

校友会館が昨年 9 月 20 日に豊洲キャンパス内に恒久施設として開館しました。豊洲本部棟が昨年 3 月に竣工し、旧アーキテクチャプラザ（建築学部製図棟）の本部棟移設工事完了を待って、その地に昨年の 7 月～8 月にかけて建築学部猪熊准教授の内装設計、西武建設株式会社の施工で校友会館として新装開館しました。この施設は、かなり大きな施設であり、現在は 100 名の常任幹事会もこの校友会館内交流プラザで実施しています。是非、皆様の来館をお待ちしております。

校友会には、総務・広報、事業、財務、例規、組織、特別、就職支援の 7 委員会が設置され、各委員会は、副会長が委員長として企画、立案、運営を行っています。その中、就職支援委員会は、会長の私が委員長を兼務しております。大学とともに 100%の就職率の達成を目指して学生の就職支援に協力をしています。昨年度は、アフターコロナを見据え各企業ともに求人を増やす状況ではありましたが、芝浦工業大学は、98.9%と近年にない高い就職率を達成する事ができました。多くの卒業生企業への就職が叶いました。皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後ともご協力をお願い申し上げます。

最後に校友会会員の皆様、ご家族の皆様のご繁栄、ご健勝を心から祈念申し上げます。

副会長・総務広報委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

吉池 富士夫

金属工学科
昭和 51 年 卒業

校友会歴

平成27年 埼玉支部長
令和 2 年 副会長（総務広報委員長）

経歴

平成25年 (株)LIXIL 専務執行役員
平成28年 飯田グループホールディングス(株) 執行役員
令和 2 年 (株)吉池事務所 代表取締役

校友の皆様、そしてご家族の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度も芝浦工業大学校友会活動にご尽力賜り誠にありがとうございます。

長かったコロナ禍も徐々に和らぎ、元の日常を取り戻せる環境になってきました。

その一方では不安定な世界情勢の中、まだまだ穏やかな生活は望めそうにありません。

昨年、大学は卒業生の皆さんが親しんできた田町の芝浦キャンパスから本部棟の完成をもって豊洲キャンパスへ完全移転しました。

そして豊洲には待ち望んだ『校友会館』の完成により校友ラウンジ・本部事務局も移転しました。

すでに多くの卒業生が喜びを享受しているところですが、お近くにおいでの際はぜひお立寄りいただきたいと思います。

今年も総務広報委員会では例年通り本誌『校友会だより』を発行しました。

関係各位のご協力の賜物と深く御礼申し上げます。

特に今回の『支部活動報告』では、自粛してきた活動を復活させ、久しぶりに笑顔がこぼれる各支部総会の話が満載です。

どうかゆっくりお読みいただければ幸いです。

今後も近隣支部との相互交流なども加えて更に活発な校友会活動を行ってまいりましょう。

皆様のご健康とご多幸を祈念しつつ、引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

副会長・組織委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

飯島 敏春

機械工学科
昭和 54 年 卒業

校友会歴

平成26年 常任幹事・監査役 就任
令和 2 年 副会長・組織委員長 就任

経歴

平成28年 日本通運(株) 参 与 就任
令和 4 年 芝浦工業大学就職キャリア支援部
顧問 就任

卒業生の皆様におかれましては、お変わりなく益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は校友会活動に多大なるご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。コロナ禍も終息しつつありますが、ロシアによるウクライナ侵攻も一年が過ぎ、物価の高騰も続いております。このように社会の変革のスピードが速い時代に社会的課題を解決できる技術者教育が必要です。

来年から大学工学部は、学科制から課程制に変わります。これは「分野横断教育」であり、学生は、軸となる専門分野以外の授業も取得できる制度です。この様に大学教育にも変革が起る中、校友会も若手卒業生が集まる様な組織にしていかなければと考えます。

本年 4 月より、「若鮎交流ゼミ支援制度」を開始致します。これは、研究室の先生とその若手卒業生と学生で研究発表や懇親会を校友会館もしくは東大宮生協を利用して研究室単位で開催する際、校友会より人数に比例して助成金を支援する制度です。開催の冒頭で組織委員か卒業学科の常任幹事が校友会の説明と本制度の趣旨説明を行い、若手卒業生や学生達と懇親を深めて頂きたいと思っております。そして、若手卒業生や学生の意見をお聞き出来る機会と捉え、時代の変化に伴い、あるべき校友会の在り方を考えていければと考えております。

昨年は芝浦建築会が芝浦建築会支部となり、校友会の一員となって頂きました。また、今後も休眠支部の復活や新支部の開拓を推進して行きたいと考えております。

校友会の皆様におかれましては、校友会と大学の益々の発展になお一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。

副会長・事業委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

釜井 重一

建築学科
昭和 55 年 卒業

校友会歴
平成23年 常任幹事就任
平成29年 副会長（事業委員長）就任（2期満了）

経歴
平成30年 三井住友建設(株) 定年退職
平成30年 釜井建設マネジメント(株) 代表取締役

校友の皆様、6年という長い間ご支援いただき、どうもありがとうございました。無事副会長職を卒業することが出来ました。6年前、機械工学科同窓会支部長の故畠中總一郎先輩からご指名を受け、手探りでここまでやってきました。最初の3年間で組織の流れを体感し、さあこれから自分の色を出していこうとしていた矢先に、新型コロナウイルスで、その後の3年間我慢を強いられてしまいました。しかし、その間にたくさんの優秀な仲間や校友の皆様に助けられ、こんにちを迎えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

恥ずかしい事をするなという精神を表す言葉で、「名こそ惜しけれ」というものがあります。この名というコトバは名声欲の名ではなく、恥ずかしい事をしたら「あいつが」と言われる、その名です。これは関東の鎌倉幕府成立時に、湧く雲のようにおこった関東土着のモラルで、その後全国を風靡し、しかも現在にも影響しており、日本人の倫理観、道徳の基本的な礎となっています。作家の故司馬遼太郎さんの講演での言葉です。

芝浦工業大学の卒業生には、この「名こそ惜しけれ」が脈々と受け継がれているのではないかと、各支部総会に出席させて頂くと感じられることが多いです。社会に学び、社会に貢献する技術者である為には、「名こそ惜しけれ」を肝に銘じて、相手に対しても、自分に対しても誠実に生きていくことと信じます。

最後になりますが、校友の皆様におかれましては、大学の為、在校生の為、もちろん校友の皆様の為に今後とも校友会の活動に多大なる御支援、ご鞭撻を賜りますよう伏してお願い致します。

副会長・例規委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

長谷川 健嗣

機械工学科
昭和 57 年 卒業

校友会歴
平成29年 常任幹事 常任幹事会議長
令和 2 年 常任幹事 副会長 現在に至る

経歴
平成29年 (株)吉田製作所 取締役 生産本部 本部長
令和 3 年 同 取締役 特命担当部長

2020年1月の大流行から3年が経過し、新型コロナウイルス感染症の位置づけが現在の「2類相当」から「5類」に移行する方向で動き始めました。

この間、卒業生の皆様におかれましては、困難な時間を過ごされた方もいらっしゃるかと拝察いたします。

2023年の全国総会では皆様と一堂に会して歓談できますことを心待ちにしております。

さて、2022年度は委員会の開催はメールでの討議といたしました。

内容としては、執行役員会の懸案でありました「卒業生評議員候補者選考 規則」の確認であり、第6回執行役員会の会議の場で現行運用との齟齬を指摘するとともに修正案を提示いたしました。当会議ではその主旨が採択されましたので、例規委員会委員の皆様にご確認と意見を求め賛同を得ました。この後、常任幹事会での承認を経て規則の改訂成立となります。

本年度は、委員の皆様の手を煩わす様な大きな規則改定事案はございませんでしたのでメールでの討議といたしましたが、2023年度は委員相互のコミュニケーションを図る意味でも対面での委員会を開催したいと思う次第です。

今後も、執行役員会ならびに各委員会から「規則の改正」が起案されましたら肅々と対応して参ります。

最後になりましたが、ウィズコロナへの移行のもと2023年度は皆様との再会を心待ちにしたいと存じます。くれぐれも健康に留意しお身体をご自愛下さるようお願い申し上げます。

副会長・特別委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

新井 剛

地球環境システム専攻
平成 15 年 博士課程修了

校友会歴
平成29年 選挙管理委員長
令和 2 年 特別委員会委員長 現在に至る

経 歴
平成19年～平成20年 独立行政法人 日本原子力研究
開発機構 特定課題推進員
平成29年～現在 芝浦工業大学 工学部 材料工学科
教授

私は、高校、大学、大学院、そして教員として人生の半分を芝浦工業大学と共に歩んできております。教員となってからは積極的に校友会活動にも参加させて頂いており、事業委員会、特別委員会、選挙管理委員会等、卒業生として多くの企画・運営に携わせて頂いております。少子化に拍車がかかっている今日、何れの大学もその歴史を紡いでいくために粉骨砕身の努力が求められます。

本学では、2024 年度に工学部が学科制から課程制へと大きく再編し、続いてシステム理工学部、デザイン工学部も改組を予定しております。芝浦工業大学がこれまでに培った 100 年の歴史を次の 100 年に繋げるために、芝浦工業大学も大きく舵を切っていく必要があります。芝浦工業大学が 2027 年に 100 周年を迎え、今後この混沌とした世界情勢の中で発展を加速させていくためには、校友会、大学、後援会の三位一体の連携は必要不可欠です。

私は現職の本学教員である強みを活かし、校友会と本学、後援会との橋渡し役として、積極的に活動していく所存です。特に特別委員会委員長として、箱根駅伝本戦出場への挑戦、ますます活発になりつつ学生の課外活動支援、本学が力を入れている理工系女子の進学支援等を着実に進めたいと考えております。

これらの所信を基に『新たな世代の融合による開かれた校友会の構築』を目指し、校友会のますますの発展に貢献していく所存です。

副会長・財務委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

福井 幸博

電気工学科
昭和 55 年 卒業
地域環境システム専攻
平成 23 年 博士課程修了

校友会歴
平成27年9月～ 常任幹事
令和元年7月～ 富山支部長 現在に至る

経 歴
平成25年8月 文部科学省地域イノベーション戦略支援
プログラム・プロジェクトディレクター
平成30年4月 (一財)北陸産業活性化センター
特別参与 現在に至る

卒業生の皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、財務委員会の主なミッションは予算編成です。予算編成の方針は、必要な施策に、必要な予算を配分することで、校友会活動の活性化を実現することとしています。

校友会活動の活性化は、校友会会員のニーズ変化に対応することが必要で、敏感に変化をとらえ、従来の延長線上でない施策の創出が重要です。財務委員会では令和4年7月～12月まで委員全員で「校友会の活性化に向けた検討会」を開催し、答申をまとめました。その概要は、以下の通りです。

1. 校友会のネットワーク強化
 - (1) 学生向け就職勉強会など若手卒業生による就職支援
 - (2) 校友会員が談笑できる「たまり場」づくり
2. 若手デジタルネイティブ世代への対応
 - (1) 若手デジタルネイティブ世代による運営委員会設立
 - (2) 若手起業家によるスタートアップ事業の支援
3. 学術研究とのビジネス・ネットワークづくり
 - (1) 芝浦学術サロン（校友会員と大学研究者の交流の場）の常設
 - (2) ビジネスマッチング・イベントの開催と、ビジネスマッチング・サイトの開設

以上の新しい施策への取組みを進めるとともに、令和9年（2027年）に迎える大学創立100周年に向けた事業企画、さらにその後の校友会も考えながら、校友会会員一人一人の思いを予算に刻み込んでいきます。今後ともご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

監査役ご挨拶



芝浦工業大学 校友会

監査役

小川 達生

通信工学科

昭和 51 年 卒業

校友会歴

平成26年 本部常任幹事 就任

平成29年 本部監査役 就任 現在に至る

経 歴

平成21年 (株)日新コンピュータシステム 代表取締役 就任

平成29年 (株)日新コンピュータシステム 取締役会長 就任
現在に至る

本部監査役に就任して6年目になりました「在校生を100%就職させる」は変わらず活動を行っています。最近では、IT 関連において学生優位の就職状況が続いていますが、ウクライナの状況、米中対立の結果により買い手市場になるかもしれません。今後ますます DX 人材が必要となっていきます。大手企業に入社できなくとも中堅 IT 企業に就職し技術の習得と経験を積むことにより、大手企業の情報部門への転職も可能となります。これも大手企業への入社方法と捉えて、中堅 IT 企業を目指すのも良い方法だと考えます。堅実な経営をされ好成績を残している中堅 IT 企業もたくさんあります。そのような企業に今年も大企業の試験で失敗した学生を積極的に就職のあっせんを行っていきたいと思います。在校生が中堅 IT 企業に目を向けるよう各地で行われる当校の父母懇談会等において、中堅企業の魅力を父母・在校生に発信し中堅 IT 企業に入社した芝浦工業大学の若い卒業生に中堅企業の魅力を語らせたいと思います。大企業志向、公務員になりたい等の理由で就職ができなかったということにならないよう活動を行ってまいりたいと思います。

今期で任期を終え退任することになりますが退任後も全力で校友会の支援を行っていききたいと思います。



芝浦工業大学 校友会

監査役

小 貫 諭

大学院工学研究科

工業化学専攻

昭和 52 年 修士修了

校友会歴

平成25年 群馬支部長 就任

令和 2 年 本部監査役 就任 現在に至る

経 歴

昭和61年 群馬セラミックス(株)代表取締役 就任

平成29年 群馬セラミックス(株)取締役会長 就任
現在に至る

本部監査役就任から、早いもので、3年目が過ぎようとしています。コロナ渦でのリモート会議ばかりだったような気もしますが…思い起こせば、コロナ渦といえども、なかなか楽しく、校友会の心髄である皆さんとの酒の酌み交わし、言いたいことを言っていたような…？

とは言え、我が芝浦工業大学の発展すざましく、まさにグローバル大学として、世の中の一步先を進む一流の大学に進化していると実感しています。

真にうれしく、大学を誇る気持ちの高揚を感じざるを得ません。ありがとう我が母校芝浦工業大学。

世界が緊迫する中、どの様に模索し、人生を楽しむか、大きな命題がここにあります。

何れにせよ、我が母校芝浦との関りは、人生にとって大きな礎となっていることは間違いありません。

これからも、私の人生は、母校芝浦を愛し続け、仲間たちとの大きな交流の輪の中で、楽しく歩むことを目的としたいと考えていますし、できうる限りの支援をして行きたいと考えております。

今後も、芝浦工業大学が、大きな発展を遂げることを目的に、自分の生き方、世に残せた実績を校友会活動にうまく合致させ、校友会の皆さんのために貢献したいと考えております。

監査役ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
監査役

作山 康

建築工学科
昭和 58 年 卒業

校友会歴
平成29年 常任幹事
令和 2 年 監査役

経 歴
昭和58年 株式会社都市環境研究所（主任研究員・執行役員）
平成23年 芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科（教授）

コロナが終息しつつある中で、大学も通常授業や通常サークル活動等が実施されています。校友会も対面での総会やその他各支部でのイベントも徐々に実施または企画されつつあり、2023 年度はコロナ以前のように校友会活動が円滑に実施されるよう常任幹事及び執行役員としてもできる限りの支援をしていく所存です。

監査役としては、経験豊かな諸先輩達に支えられながら、各活動や会計の監査を厳正に実施しています。

校友会館が豊洲に新しく開設されて豊洲キャンパスに行く機会が増え、対面での校友会会員同士の交流が復活しつつあるばかりか、本部やキャンパスに隣接していることから、在校生や職員との交流もしやすくなったと感じています。ぜひ多くの校友会会員に有元史郎記念校友会館交流プラザを活用していただき、皆さんとともに校友会の新たなステージに邁進していきたいと思ひます。

常任幹事会議長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
常任幹事会議長

林田 和雄

建築学科
昭和 52 年 卒業

校友会歴
副会長（5期）
常任幹事会議長（2期）

経 歴
一級建築士事務所 創造社勤務（在籍21年間）一級建築士
東京都港区議会議員（5期20年）
株式会社 アカネ（豊島支店長）

全国の卒業生・校友の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また3年間に亘るコロナ禍が収束に向かい、平穏な日常を向かえようとしています。これまで本学関係者並びに生徒・学生を支えてこられたご家族の皆様には万感の思いを込めて感謝と御礼を申し上げます。

本校は創立 100 周年へ向け、新たな挑戦の歴史を刻んでいます。昨年 9 月には豊洲キャンパスに本部棟が開設され、学習環境は飛躍的に充実されました。また海外大学との教育的連携や大学教育のグローバル化モデルの構築、世界基準の教育展開が評価され、文部科学省から引き続き「スーパーグローバル校」に認定されました。私立大学の全国ランキングでは 24 位と、名だたる国公立大学に肩を並べています。

私が本校で教育を受けていた時代と、現在の教育環境との違いに隔世の感を抱きます。現役学生の皆様は何と幸せなのかと感じると共に、今後の社会を背負っていく使命ある一人ひとりであり、貴重な人材群であると感じてなりません。

芝浦工業大学の発展を支えるのは、卒業生と現役生の団結であると改めて確信致します。コロナ禍の3年間で養った力を、今後は社会へと展開していこうではありませんか。

「知は力なり」との言葉がありますが、人格の伴った知力こそ、次の時代をリードするものと確信致します。芝浦工業大学の卒業生が共に手を携えて、本学の卒業生の誇りを高く掲げ、前進して参りましょう。

理事長挨拶



学校法人芝浦工業大学

理事長

鈴見 健夫

全国の校友の皆様、ご家族の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。コロナウイルス感染症も4年目を迎え、ようやく終息の兆しが見えてきました。全国の支部の皆さんからも3年ぶりに支部総会が開催できるとの話を戴いています。

今年の入学試験も例年通り、前期2月1、2、3、4、後期2月21日に実施されました。志願者数は36,687名で対前年比97%でした。全国の私立大学志願者数では21位（昨年22位）でした。本学の100周年に向けての目標として全国型大学・女子比率30%以上を目標にしています。東京の主要大学は本学を含め1都6県からの入学者比率が80%近くになっています。工学部の女子比率は18%前後です。今年から全国型大学に戻すべく、地方学生・女子学生向け給付型奨学金制度を新しく設けました。全国からの入学者をお待ちしていますので、全国の校友の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

昨年9月21日から使用開始した本部棟は1階に世界的建築家・坂茂さん（本年4月特別招聘教授に着任）設計のイタリアンレストラン「銀座シシリア」・「SITGlobalCaffe セガフレードザネッティ」がオープンテラスにて開店し校友会寄贈のキャンパスピアノ・大階段のフラワーガーデン・シバウラキッズパークを楽しむ近隣の皆さんで毎日賑わってます。これからも地域に開かれたキャンパス創りを目指していきます

元のアーキテクチャープラザは「有元史郎記念校友会館」としました。中には創立者有元史郎記念館・校友会事務局・交流プラザを作りました。有元史郎記念館には創立者の末娘 Mikko Hagotto-Henson さんからの遺贈品が多数展示される予定です。ヘンソンさんはロサンゼルスに居住されてましたが昨年6月に亡くなられ遺産を全て芝浦工業大学の留学生にと、カリフォルニア州立大学アーバイン校に遺贈されました。毎年70名を超える学生が語学研修等で留学をしています。

箱根駅伝予選会は昨年20位でした。本戦には関東学連選抜に橋本君（環境システム学科3年）が出場し5区の登りの難所を志願し力走を果たしました。この4月にも12名の新人が入学してきます。何とか100周年までに本戦出場を果たすべく部員一同頑張っていますので皆様の応援を宜しくお願い致します。

結びに全国の校友の皆様、ご家族の皆様のご繁栄、ご健勝を心から祈念申し上げます。

学 長 挨 拶



芝浦工業大学
学 長
山 田 純

校友会の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。コロナウイルス感染症に関しましては、多少の不安を残しつつも、マスクをとって過ごすことができるようになりました。おかげさまで、2022年度の卒業式（学位記授与式）、2023年度の入学式ともに、ご家族の方も交えて、東京国際フォーラムにて挙行することができました。ようやく日常が戻ってきたと実感しているところです。

さて、3年の間つづいたコロナ禍にあっても、芝浦工業大学は立ち止まることなく走り続けてきました。大きなところでは、豊洲キャンパスに新しい校舎、本部棟を建設しました。昨年9月にお披露目会を開催したので、記憶に新しいのではないのでしょうか。また、それを機に、芝浦キャンパスにあったデザイン工学部を移転することで、人的物質的リソースの有効活用を図ると同時に、経営の効率化も実現することができました。デザイン工学部の学生さんにとっても、他学部の多くの学生さんたちと一緒に学ぶことができ、大いに刺激を受けているようです。

実は、このような目に見える変化だけでなく、教育の中身も大きく進化しようとしています。ご存知のように、情報通信技術の急速な進展にともなって、日本の産業構造も大きく変化しています。そんな中、大学における教育が明治以来の学科・専攻の編制に縛られ、社会の変化に対応できていないことが課題となっていました。文部科学省の「大学における工学系教育改革のあり方に関する検討委員会」では、学科ごとの縦割り構造の抜本的見直しを含む、工学教育改革が急務であるとの答申を出しています。

本学ではこれを受け、他大学に先駆け工学部の学科組織を見直し、課程制に移行することを決定し、その準備を進めてきました。この課程制では、教員は学部にも所属し、人事が学部主導で進められることになります。これにより、退職する教員の専門分野に縛られず、今の社会に必要とされる分野の教員が採用できます。変化の激しい社会に柔軟に対応することが可能となるわけです。

また、この課程制では、学生は社会ニーズにあった教育を受けられるだけでなく、学生自身が所属する課程を超えて他分野の学修ができるように、カリキュラムが工夫されています。これからの時代を見据えた大学教育を提供することが可能になります。2024年4月にスタートする新工学部にご期待下さい。

なお、大宮キャンパスのシステム理工学部についても、追って課程制に移行することが決定しています。ここでは教育組織の改革にとどまらず、老朽化した施設の刷新を含む、大規模な改革を計画中です。こちらについても、計画が固まり次第、校友のみなさまにもお伝えしたいと思います。進化し続ける母校の応援をよろしくお願いいたします。

芝浦工業大学校友会は、箱根駅伝出場を様々な形で支援しています

芝浦工業大学

橋本章央さんが関東学生連合チームで第99回箱根駅伝に出場
1月2日の往路5区を力走！

2023年1月2日、3日にかけて開催された第99回東京箱根間往復大学駅伝競走において、橋本章央さん（環境システム学科3年）が1月2日の往路5区（小田原～芦ノ湖20.8km）に関東学生連合チームメンバーとして出場しました。

橋本さんは、山登りが続く特殊区間で「最難関」ともいわれる5区への挑戦を自ら希

望していました。その往路最後の5区で、最終ランナーとして襷を受け取り、沿道からの大きな拍手を受けながら2人の選手を抜く力走を見せました。その結果、9位相当の区間順位を記録しました（関東学生連合チームはオープン参加のため参考記録）。橋本さん、駅伝部の皆さん、本当におつかれさまでした。



©月刊陸上競技

橋本章央さんコメント

応援ありがとうございました。
1年、2年と怪我で苦しみましたがこの舞台に立つことができ、そして走ることができて本当に良かったです。
本当に苦しい20.8kmでしたがとても楽しかったです。目標としていた区間記録、区間賞、1時間10分切りには遠く及びませんでした。次につながる走りができました。
来年は芝浦工業大学として出場をして、リベンジを絶対にします。
引き続き、芝浦工業大学の応援をよろしくお願いします。



©月刊陸上競技



©月刊陸上競技



©月刊陸上競技



橋本選手インタビュー動画

橋本選手に、芝浦工業大学のPRVTuber・芝浦ミドリがインタビュー！橋本選手の速さの秘訣や、食生活、休日の過ごし方まで色々聞いています。是非ご覧ください！

YouTube



しづうら 卒業生の「今」

ハンドボール部OB 座談会企画：

主要大会で優勝39回、準優勝22回！ ハンドボール部栄光の歴史を振り返る

芝浦工業大学ハンドボール部は1959年に全日本学生選手権大会、全日本総合選手権大会、全日本学生王座決定戦、全日本室内総合選手権大会の4大タイトルを獲得。日本代表選手も輩出し、その名を全国に轟かせました。今回は全盛期を支えた卒業生が当時の振り返り、思い出を語り合います。



塩川 安賢さん
建築工学科 1961年卒業



田口 侑義さん
工業化学科 1961年卒業



中村 宏さん
土木工学科 1962年卒業



池田 茂郎さん
電気工学科 1962年卒業



池田 鉄哉さん
電気工学科 1965年卒業



河村 登さん
土木工学科 1985年卒業

●社会人チームにも勝利し、 4大タイトルを独占！

——芝浦工業大学ハンドボール部は長い歴史と輝かしい戦歴を持つ運動部とお聞きしています。まずは創部のきっかけから教えてくださいませんか？

田口：ハンドボール部は1950年春、当時東大文部教官だった高嶋冽先生が芝浦工大の体育教室の非常勤講師になられたことを機に、建築学科教授だった三浦元秀先生に部長をお願いして創設されました。創部3年目ぐらいから全国の有力高校より新入部員を迎えるようになり、急速に強くなっていきました。我々世代の部員は全員が競技経験者で、全国の強豪校から芝浦工大に集まったメンバーです。

塩川：僕は高校3年の冬に芝浦工大が全日本室内総合選手権で優勝したのを見て、「ハンドボールをやるなら日本一のところへ行きたい!」と思って入学しました。ハンドボールが11人制から7人制に変わって、すぐの大会でしたね。

——ハンドボールといえば7人制のイメージですが、11人制の時代もあったんですね。

中村：ハンドボールはもともとヨーロッパが起源のスポーツで、

7人制は北欧、11人制はドイツで誕生したといわれています。11人制はサッカー場と同じ広さのコートで屋外、7人制は今と同じ屋内のコートで競技します。

田口：北欧は寒さが厳しいから屋外では難しいんだよね。ちょうど我々の頃に世界的にも7人制へ移行していきました。

塩川：そして僕たちが在籍していた1959年に、芝浦工大は全日本室内総合選手権だけでなく、全日本学生選手権、全日本学生王座決定戦、全日本総合選手権の4大会のタイトルを独占したんです。

中村：あのときはいっぱいお祝いしてもらったね。

田口：11人制でも7人制でも日本一になりました。

●厳しくも実り多い合宿所生活。 やり抜いたからこそ今がある

——大学チームはもちろん、社会人チームにも勝利しての日本一ですね。なぜ、そこまで芝浦工大は強かったのでしょうか？

塩川：なんとといっても合宿所で寝食をともにして、厳しい練習を積んだことが大きかったね。



(左から) 池田（鉄）さん、中村さん、田口さん、鈴木理事長、塩川さん、池田（茂）さん、河村さん

田口：当時は駒沢公園に合宿所がありましてね。6畳間に学生4人が共同生活ですよ（笑）。1年生は押入で寝ていました（笑）。

中村：1年生は交代で炊事当番もします。朝起きて、まず先輩の布団を上げて、部屋を掃除してから洗濯。それから授業や練習ですよ。

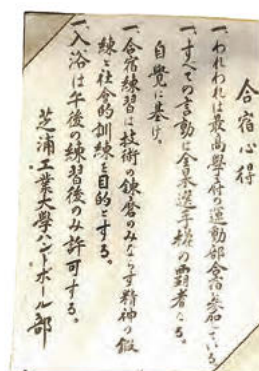
田口：合宿所の朝食がよかったね（笑）。白いごはんに味噌汁、納豆、タクアン。納豆には必ず卵の黄身と鰹節とネギがついた（笑）。

塩川：植物性たんぱく質が摂れるから本当に身体によかった（笑）。

池田（鉄）：近くにライバル校の合宿所があったんですが、そこは味噌汁とタクアンだけだったらしいですよ（笑）。「卵の黄身がつくなんて羨ましい」と言われた記憶があります（笑）。

塩川：当時60人の部員がいたんですが、まだ電気炊飯器がない時代なので1年生が薪の釜でごはんを炊いていました。おかずがサンマのときは60本のサンマを焼くわけですよ（笑）。

中村：食材の買い出しも1年生が学生服姿で行っていました（笑）。合宿所生活は大変でしたが、やり遂げたから今があるのだと思います。



昭和三十四年度 春季合宿日程	
6:20	起床
6:30-7:00	トレーニング
7:30	朝食
9:30-11:30	練習
12:00	昼食
12:30-2:00	午睡
2:00-5:00	練習
7:15	夕食
8:00-9:00	学課
9:30	消灯

上：1959年度春季合宿日程
左：合宿心得

●過酷な長野合宿が 黄金時代の布石に

——合宿所生活のエピソードは今の学生さんには想像もつかないことばかりですね！ 他に芝浦工大が強くなった要因はありますか？

田口：毎年長野県の浅間温泉で行っていた春・夏の合宿でしょう。



1959年度春季合宿集合写真

この合宿での特訓がハンドボール部黄金時代の布石になったと思います。10日間の日程のうち、最初の3日間はボールを持たない基礎練習で、うさぎ跳びや匍匐前進など軍事教練に近かったですね。練習中に水分を摂ることがタブーとされていた時代なので、雨が降るとみんな上を向いて口を開けていました（笑）。恐怖の浅間温泉合宿（笑）。毎年脱走者が出ました（笑）。

池田（茂）：私は3年次からマネージャーに転向したんですが、脱走者を迎えに行くのが仕事でした（笑）。卒業後もそれが続いて、郷里の山口県に帰って2年目の頃、「おまえと同じ高校出身の選手が合宿から脱走したから迎えに行ってくれ」と連絡が入りました。探してみると確かに山口に帰っていて、彼を東京まで送っていったことを覚えています。

池田（鉄）：その選手はハンドボールの実力では国内トップクラスの選手でした。そんな一流選手が耐え切れないほど、合宿が厳しかったということです。

●世界選手権や国際親善試合で 欧州強豪チームに勝利

——試合での思い出もお聞かせいただけますか？

塩川：いちばん印象に残っているのは、1960年に秋田県で開催された全日本総合選手権かな。台風で4日間雨が降りっぱなしで、屋外コートが田んぼみたいになった（笑）。当時の写真を見たら、全員泥だらけですよ。先輩のシューズが脱げて泥の中を探し回ったんだけど、なかなか見つからなかった（笑）。

田口：それでも決勝では大崎電気に勝利して優勝したね。

池田（鉄）：芝浦工大が海外チームを日本に招いて、国際親善試合も4回やりました。1回目が世界選手権準優勝チームのルーマニア代表。16対17で惜敗しましたが、「日本にこんなチームが

ある！」と世界に知らしめました。当時はNHKで全国放送されたんですよ。

2回目はフランスのステラというチーム。3回目はドイツ代表。どちらも勝利しました。4回目は中国代表で、日本代表が負けたチームでしたが、芝浦工大は勝ったんです。本当に強かったですね。

田口：海外チームは2m近い身長がある選手も珍しくなかったね。身体の大きさ・厚み・重さ・高さが全然違いました。

池田（鉄）：それでも勝利できたのは、日本人選手にスピードと機敏性があったからでしょうね。

田口：テクニックとスピードは遜色なかったね。

池田（鉄）：ステラとの試合会場は東京体育館だったんですが、1万人入の会場が満員になった。新聞にも大きく取り上げられたし、すごい人気でした。

田口：世界選手権にも2回出場させてもらいました。1961年は西ドイツ（当時）、1964年はチェコスロバキア（当時）で開催されて、チェコでの第1戦では前回大会7位のノルウェーと対戦し、18対14で勝利を収めました。日本代表が世界選手権で初めて手にした勝利です。今に至るまで日本代表が世界選手権に出場できたのは、たった4回。その中の初勝利は快挙だったと思います。ちなみに、日本代表ではありますが、選手の半分近くは芝浦工大の学生が卒業生でした。

池田（鉄）：その後、1968年から始まる学園紛争を機に、新入生を迎えることができなくなり、徐々に優勝から遠ざかっていきました。

池田（茂）：東京大学と芝浦工大は学園紛争がひどかったね。

池田（鉄）：他の強豪校はさほど影響がなかったんですが。

河村：私は先輩方より20年近く後の時代で塩川さんが監督をされていたチームに在籍していました。当時は2部リーグでした。強かった時代のお話を先輩方からお聞きする機会が多く、とても印象に残っています。

●一度経験すると 楽しさがわかるスポーツ

——ここで改めてハンドボールという競技の楽しさ、面白さを教えていただけますか？

池田（鉄）：ハンドボールには「走る」「跳ぶ」「投げる」の3要素が全て揃っています。目的に向かってこの3要素をいかに使いこなすかがポイントで、達成できたときの喜びは格別です。

田口：キーパーと1対1になり、シュートを打つ瞬間がダイナミックなんですよ。キーパーとのかけひきで、ボールを浮かしたり、股下を狙ったり、顔面の横を通したり。決まった瞬間はたまらないですね。ハンドボールの醍醐味だと思います。

池田（鉄）：それになんといっても優勝の喜びが大きいよね。私は選手・監督として何十回も全日本選手権に出場していますが、優勝の喜びを分かち合う瞬間が最高です。

河村：優勝は2部リーグでも3部リーグでもうれしいものです。ハンドボールは相手選手とのコンタクトプレーもあるし、シュートは本当に快感です。やってみると楽しさがわかるスポーツなので、多くの方に知っていただきたいです。

●あの経験があれば、 どんな困難も乗り越えられる

——最後に、ハンドボール部で学んだことで、社会に出られてから役立ったことはありますか？

中村：たくさんありますよ。私は卒業後、企業に就職しましたが、社内の人間関係を乗り切っていくのにハンドボール部での経験がとて役に立ちました。卒業から10年後に独立し、総合建築業の会社を立ち上げたのですが、会社経営はさまざまな困難を伴います。しかし、「こんな苦勞、大学時代の合宿に比べたらたいしたことない」と思えました（笑）。あれだけの努力と忍耐をして

きたんだから、どんなことにも耐え切れる。会社経営なんて、金がなければ銀行行って借りてくればいいんですよ（笑）。でも合宿は「待ったなし」ですからね。その場で解決しなくてはならないことばかりで、本当に鍛えられました。

塩川：私は卒業後もずっとハンドボールに関わり、社会人チームや学生チームの監督を歴任してきました。そこで人を指導し、その成長を見る喜びを実感したんです。人の指導とは、その人のいい面を引き出すこと。選手一人ひとりの身体能力や技術力などを観察し、伸びしろを見つけて指導すると、思ったとおりに伸びてくれる。自分のことだけ考えていた選手時代より喜びは大きかったですね。

河村：私は建築関係の仕事をしているんですが、塩川監督には仕事の案件も紹介していただきました（笑）。

田口：なんといっても工業大学ですからね。実習があるから、私たちも普段は授業に出席し、その後に駒沢グラウンドで練習していました。とにかく忙しいから時間をムダにできない。限られた時間の使い方は社会に出てからも役に立ったんじゃないかな。

中村：私は少し前に難病になり、3か月間入院して、ほとんど車いすの生活を送っていました。病院のリハビリも受けましたが、少し痛みがあるとそこでストップです。「これでは治らない！」と考え、自分なりに工夫してリハビリし、今では2日に1回ゴルフができるまでに回復し、主治医も驚くほど。この精神力も学生時代の部活動で培ったものです。

池田（鉄）：現在、私は芝浦工大の女子ハンドボール部の監督を務めています。部活動は人間形成の場です。合宿所の心得に、「ハンドボール部の活動は技術の錬磨のみならず、精神と社会的訓練を目的とする」「全ての言動は全日本の覇者たる自覚に基づけ」というものがあります。

全員：ありましたね。

池田（鉄）：私たちの一挙手一投足にこの言葉が染み付いている。これこそが大学スポーツの成果だと思います。



1960年8月全日本総合ハンドボール選手権大会にて公式大会46連勝



1964年日仏国際親善試合 フランス・ステラ対芝浦工業大学戦

Shiba-jo プラチナネットワークご紹介

Shiba-jo プラチナネットワークとは

芝浦工業大学の女性卒業生、教職員、在学生でつくるネットワークです。

異業種 / 同業者交流としてご自身のキャリアに活かすもよし、ご自身の活動を紹介する場としてもよし、再就職のヒントを得る場所など、それぞれの立場で、メンバー同士がこのネットワークを活用しています。ぜひ、あなたの活用方法を見つけてください！

現在は、就職セミナーへの参加など女子学生への支援を中心として活動していますが、今後このネットワークを活用した活動を広げていきたいと考えています。一緒に中心となって進めて頂けるメンバー、活動におけるアドバイス頂ける方を募集中。

また、在学生支援としてセミナーなどに登壇頂ける方も募集しています。ぜひお気軽にお問い合わせください！

ご興味ある方は、QR コードより Shiba-jo プラチナネットワークにご入会ください。本学の女子学生や卒業生向けイベントの企画・運営をお手伝いして下さる方も大歓迎です。



Shiba-jo プラチナネットワーク会員数

種別	卒業生教員	卒業生職員	卒業生	学部生	教員	職員	計
人数	1	4	88	118	34	20	265

2023 年 4 月現在

芝浦工業大学男女共同参画推進室内 Shiba-jo プラチナネットワーク事務局

TEL : 048 (720) 6440

E-mail : desk-geuality@ow.shibaura-it.ac.jp

2022 年度 女子学生と卒業生の座談会報告

10/8（土）に豊洲キャンパスの新校舎である本部棟で、女子学生と卒業生の座談会を開催しました。この座談会では、芝浦工業大学の女子学生と卒業生の交流を目的としています。はじめに卒業生の4名に自己紹介をしていただき、その後2つのグループに分かれて座談会を行いました。進路のデータからは知ることができない、実際の職場環境や就職相談、結婚や出産の経験談など、普段は聞くことのできない話で盛り上がりました。参加した学生からも高い満足度を得ることができ、有意義なイベントにすることができました。



2022 年度 懇親会報告

10/8（土）の座談会終了後、Shiba-jo プラチナネットワーク懇親会が豊洲キャンパス交流棟402室にてオンライン併用で開催されました。27名（Zoom参加3名を含む）が参加しました。最初に池田歩前代表よりこれまでの活動報告及び運営体制の変更について、その後、金丸真奈美新代表より今後の活動についてのお話がありました。その後、参加者全員の自己紹介と近況報告が行われ、最後に男女共同参画推進室吉川倫子室長より大学における男女共同参画に関わる最近の取り組みについて紹介がありました。その後、9月に完成した本部棟のお披露目ツアーが実施されました。懇親会参加者に実施したアンケート回答では懇親会に満足いただけたこと、また、今後もイベントに参加したいとの前向きなコメントをいただきました。



～ 変革の時代の経営を考える～ 実学サロン (第31回)

2022年11月18日開催

安らぎと快適さを感じさせる建物づくり

ー アーキテクトとして半世紀 ー

講師 田口 継道



図1 新しくなった校友会館(豊洲)で開催した実学サロン。司会の小平和一郎総務広報委員(右)と講演者の田口継道(1964年建築学科)。

【講演概要】

講師の田口氏は、理念として「そこに住う人、集う人、仕事する人々がイキイキと感じ、居心地の良い建築を造りたいと心がけております」「人に優しい、自然に優しい、優しい建物、優しい街の創造を目指します」を掲げています。

田口氏が手掛けた東京ディズニーランドの建設では「ゲスト(顧客)・オン・ステージ、従業員はサポーター」という、ディズニーのサービスとホスピタリティを学びました。

ディズニーでの学びを活し、病院づくりなどでは、メカニカルなものを隠し、好感度アップ、人間性に視点をあてた病院らしくない病院づくりを心がけました。「また来たくなるやすらぎの空間をつくる」病院の中にいて居心地が良い空間設計を実現してきました。住居設計では「住んで幸せになれる環境づくり」「心に響く家づくり」を、施設設計では「豊かな自然との融和」「目的を理解し、未来を見つめる」「社会との関わり合いを理解する」を心がけました。



図2 「人に優しい住宅づくり」を手掛けてきた田口継道氏

社会に出て活躍している多種多彩な校友の交流の場

2012年7月に第1回目の実学サロンを開催しました。コロナ感染の影響を受け、2年半前からお休みをしていましたが、2022年11月18日に第31回目の『実学サロン』を開催できる状況になりました。今回は、豊洲移転で新しくできた「校友会館」を使用して対面での開催となります。今日は総勢63名の方の参加が予定されています。

今回初の試みとしてオンライン(Zoom)で聴いていただくこととし、現在17名が参加しております。校友会館での開催もZoomでの開催も初という取り組みです。

実学サロンの講師は、毎回校友から選んでいます。社会に出て活躍している校友をご紹介したいとの趣旨で取り組みを始めました。ビジネス経験や研究活動の経験を聞くことは有意義なことです。実学は、その道で体得された方からの情報をヒントにするのが一番です。皆様のご支援、よろしくお願いします。

副会長・総務広報委員長 吉池 富士夫

お客様は演劇の中のスターであるという考えでやってくれ

1970年に独立して、設計事務所をつくりました。10年位経った時に東京にデズニランドをつくる話があり、そこに関わる仕事ことができました。今でも「This is America.」と「Gest on Stage」という言葉が記憶に残っています。その言葉に感銘を受けました。

病院らしくない病院を作る

大きな病院の設計依頼がきました。その事務長から「田口さん一回朝から受付にきて一日座っていてくれ」と言われました。養老型と言って、老人が多い病院でした。「患者さんで病院に喜んでくる人はいない」と事務長から話されました。いかにして最初の印象を従来からの病院の印象を脱した病院をつくろうと取り組みました。

「病院は来るのも入るのも嫌だ。病院は嫌いだ」となります。そこで「また来たくなるやすらぎの空間をつくる」ということを心掛けました。具体的には受付にあるPCは見えないようにし、事務的要因を見せない円形とし、あたりを柔らかく見せるようにしました。(図3)

「光と風」がコンセプト(秩父病院)

病院の中に居ても心地良い季節には荒川を渡ってくる風を感じ、お日様がでてくる時には、出来るだけ建物の奥にまで直接外の光が行き届くような建物をつくりました。昼夜の時間の経過が屋内にいても自然に感じられる、周囲の山並みに同調した2階建て病院をつくりました。その設計にあたり、院長の趣味が、山登りから始まりヨットであり、スキーであり、魚釣りであり、スポーツの愛好家であり、ナチュラルリストでした。建物の素材として木を主題とし、木を感じられる建物づくりを心掛けました。(図4)

自然との調和を考えて建物を建てる(滝川コミュニティコア)

自然環境との融和、目的を理解して未来を見つめる、社会との関わり合いを理解することが大事です。設計にあたっては、現場に行き、周りをみて、地域に根差した建物を作ることです。自然との調和を大事にした建物を建てるのが重要です。図5は、北海道の旭川市の近くの滝川市に作った建物です。大雪山のふもとに、ある会社のアンテナショップを建設しました。ホールやレストランなどが入る建物をつくりました。

新しいお墓のあり方(赤坂浄苑)

赤坂につくった納骨堂です。新しいお墓の在り方を考えてつくりました。ボタンを押すと納骨のお墓が出てきます。会社の帰りにも寄れます。今はこのような納骨堂が流行っています。Q & Aの中で「納骨堂を勉強した。ほとんどが建物の中に閉じ込めているのが多い。できるだけ普通の屋外の墓詣りに行った時の感じを残そうと思い、風が通るようにした。屋外の墓の前に行ったような雰囲気を出すようにした」と設計コンセプトを報告しました。(図6)



図3 回心堂第2病院、ホテルのような事務所らしくない受付



図4 秩父病院、木肌を見せ、天窓から自然光と風を室内に



図5 滝川コミュニティコア、山脈がみえるような建物



図6 赤坂浄苑(東京赤坂)、開放的なお墓(納骨堂)

実学サロン開催案内メールサービス

案内を希望の方は、メールアドレスと氏名と学科・卒業年次を下記メールアドレスに、ご連絡ください。

E-mail: sitfriends@shibaura-koyu.jp

実学サロンのホームページでの案内

校友会のホームページをご覧ください。

<http://www.shibaura-koyu.jp/salon/index.html>

【講師略歴】

田口 継道(たぐち つぐみち)氏
1964年3月 芝浦工業大学建築学科卒業、卒業設計優秀賞。
1964年4月 設計連合入社、丹下健三先生門下。
1967年4月 設計連合退社。
1970年4月 新東企画設計事務所を設立し代表取締役社長。
1987年1月 (株)田口継道建築設計事務所に社名変更

支部活動報告

北海道支部

支部長 小川 博司 工業経営学科 昭和45年卒業

校友会の皆様におかれましては、全国各地でご活躍のこととお慶び申し上げます。

北海道支部はコロナ禍で三年間中止となっていました支部総会を5月27日（土）に何とか開催する運びとなりました。

また、同様に開催できなかった北海道内にある5つの分会も、3分会で分会総会が開催され、少しずつですがコロナ前の状態に近づいてきました。

支部総会を開催できない中ですが、今年で44号とな

る支部だよりは継続してきました。また、北海道出身の卒業生の動向調査を継続してきましたが、道内への就職者が少なくなっており、会員数の増加に繋がり難い状況となっています。

そのような状況の中、北見分会の総会に支部総会に2名の新しい参加者が加わってくださいました。長年の懸案ですが、少しでも多くの新しい校友会員が参加できるよう知恵を絞っていきたいと思っています。

最後に OB 諸氏とご家族の健康を祈念申し上げます。



青森支部

支部長 木村 喜有 土木工学科 昭和44年卒業

コロナウイルス感染拡大の影響で、校友会の支部活動は令和2年、3年の2か年休止状態となっておりました。令和4年は校友会本部から飯島副会長をお迎えし、3年ぶりに支部総会・懇親会・親睦ゴルフコンペを開催しました。今年の総会は青森市での開催のため、青森市在住者が中心ではありましたが、久しぶりの開催で一同楽しく、盛り上がることができました。

青森支部は160名程の会員が登録されておりますが、新しい方の参加が少なく、年々連絡先も宛先不明の方が増えてきており、先細り感が否めません。

次回の青森支部の総会・懇親会は青森、八戸、弘前の輪番開催で、令和5年は10月に弘前で開催予定です。

校友会だよりをご覧の青森県在住の方是非一度支部総会・懇親会に足をお運びください。大歓迎いたします。



岩手支部

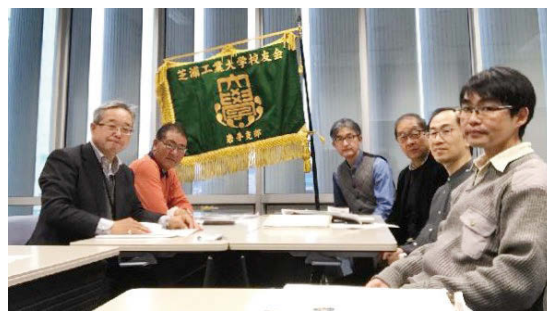
支部長 遠藤 龍一 建築工学科 昭和50年卒業

令和5年5月8日から新型コロナも5類に移行されるようで、やっと通常の生活ができると期待しております。

令和4年度の岩手支部総会は例年であれば本部総会の報告を兼ねて6月下旬に開催しておりますが、昨年同様にコロナの関係で今年の開催は夏以降に様子を見ながら考えようということになりました。9月に有志と連絡を取りながら開催の検討をした結果、少数の参加者となることが予想されるが今年も開催しようという運びとなりました。

11月19日(土)「岩手県情報交流センター」で開催いたしました。入館の際の検温・アルコール消毒。会議室に入ってから検温・アルコール消毒・座席の間隔を開け、コロナ対策を万全にして開催しました。総会後の懇親会は有志にて短時間ではありましたが行いました。

今年度も少人数の支部総会でしたが、来年度こそはコロナも収束して多くの仲間が参加し大いに盛り上がる支部総会になることを期待して閉会しました。



秋田支部

支部長 池田 広志 建築工学科 昭和55年卒業

全国の芝浦工業大学校友会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。国のコロナ対応も変わり、その先に明るい光が見えるような気がします。

秋田支部では例年7月第一金曜日に支部総会を開催することとしています。大学や校友会本部からの来賓を招き、年に一度の総会では母校の最新情報や支部会員の近況などの話題に宴は大いに盛り上がります。また、会員の親睦と健康維持にとゴルフコンペも開催しています。秋田にゆかりのある卒業生の皆様、連絡をお待ちし

ています。

豊洲キャンパスは完成を迎えましたが、大学本部では27年の創立百周年に向けた準備に忙しさが日に日に増してきていることと思います。支部からも応援いたします。

百周年を迎える年にはコロナ禍もすっかり過ぎ去り、素晴らしいキャンパスに学生たちの口元にはマスクは無く、白い歯の満面の笑みが見られることを信じています。



宮城支部

支部長 杉崎 年英 土木工学科 昭和48年卒業

今年こそ正常な支部活動を目指して

コロナまん延の中会合の開催もままならず、実質的な支部活動のお手上げ状態が3年続きましたが、昨年末の幹事会で、どんな状況になっても今年からは正常な支部活動を目指すことにしました。

総会もリモート参加が出来る会場で正規の総会を開催することとし、ゴルフ大会もコロナ禍前に戻して年2～3回行い、そのほかの野外活動も実施することとしました。

また値下げしていた支部年会費も以前の金額に戻すこ

ととし、その時々的情勢に合わせて支部活動を行うことで、幹事一同一致しました。

コロナ禍の経験として、何もできない状態とは何もしないことではなく、その時々状況に合わせて何が出来るかを考えなければならないことを、思い知らされました。

支部活動の最大目標でもある会員同士の親睦を図る為には、会員同士が顔を合わせることが何よりも大切なことを思い知らされたコロナでした。



山形支部

支部長 川越 進 土木学科 昭和46年卒業

コロナ禍で支部活動が休止となり4年になります。

本年は山形支部の歴史を振り返り、今後の支部活動の活性化につなげて行きたいと思います。

<昭和45年>

後に初代支部長となる酒井先輩（昭和4年卒）から島貫先輩（昭和25年卒）へ連絡があり山形支部が発足。（初代会員は数名）年に1回の会合を実施。

<昭和52年>

昭和11年卒の酒井先輩が第2代の支部長となる。卒業生名簿を入手するも、現住所の把握が難しく例年5名程度の参加で支部総会開催。

<昭和62年>

昭和25年卒の島貫先輩が第3代の支部長となる。例年150通程度の支部総会案内状を送付するも出席者が集まらず数年間の休会もあった。その後は10名程度の参加者での支部総会開催が続く。

平成19年には山形支部活性化の為、校友会野溝常任幹事に出席頂き「山形支部活性化委員会」を会員12名で開催。

<平成20年>

川越支部長が第4代目就任。役員増強し総会参加者を増加させるべく活動する。支部会費も1,000円として多くの会員からの会費徴収を図る。

平成26年には県内各地区の活動を活性化させようと置賜地区と庄内地区に分会を設立し、支部総会の他隔年で分会を行い会員増強に努める。

現在は約200名の会員で、50名程度の皆様から会費を頂戴しております。

今年度は、コロナ禍の状況にもよりますが、支部総会と共に山形支部創立50周年もお祝いしたいと考えます。その際には会員の皆様にご案内致しますので、是非ご参加ください。お待ちしております。



福島支部

支部長 樋口 正人 電気工学科 昭和53年卒業

福島支部は支部会員の「絆」を大切に、相互の親睦を深めることを目的とした支部です。

令和4年度は、猛威を奮うコロナにより対面による活動は行いませんでした。制約が多い中、文書による総会、リモートによる幹事会を重ね、出来る範囲で活動を行いました。3つの事業として（①大学への支援（駅伝募金）②会報発行 ③会員拡大活動）を実施しました。

新規事業である「会報」は、会員同士が繋がる場の提供が目的です。会員投稿の旅行記、母校からの情報、わが町の芝浦OBを訪ねて、川柳コーナー等の記事があります。会員でも、お互いの事は余り知りません。平素は、大学の動向を知ることができなくなります。そんな隙間

を埋めてくれる内容です。

会員拡大活動として取り組むことは、卒業生に支部の存在と活動を知って頂き、会員との交流を通じて、有意義な人生を送ってもらうことです。今、世の中はグローバル化が進み、逆の孤立化も存在します。今年度は、メールと郵送による勧誘を行いました。

写真は、2021年支部総会の時のものと、2022年3月に実施した「リモート懇親会」（芝浦食堂カレーを食べながら色々なお話をして楽しみました。）の様式です。具体的活動内容は、校友会本部のホームページをご覧ください。



栃木支部

支部長 池田 猛 土木工学科 昭和48年卒業

令和4年度の「栃木支部総会・研修会・意見交換会」は、昨年11月6日に「ホテル ニューイタヤ」において3年ぶりに対面で開催しました。総会には、大学から理事の満重信之様、校友会本部から副会長の釜井重一様のご臨席を賜り、満重理事からご挨拶を頂いた後、令和4年度事業計画及び会計予算等が、満場一致で承認されました。

研修会では、前田洋人さん（宇都宮市職員）から「芳賀・宇都宮 LRT について」、満重理事からは箱根駅伝出場までの取り組みなど「大学の近況について」、釜井副

会長からは豊洲キャンパスに新設された校友会館など「校友会の近況について」と大変有意義なお話を頂きました。意見交換会では、校友同士の歓談があり、最後に恒例となっています校歌を全員で声高らかに歌え上げ、盛況の中での終宴となりました。

栃木支部では、現場研修会やゴルフコンペを復活させるなど積極的に活動してまいりますので、栃木県の出身者・在住者・在勤者など所縁のある方のご参加をお待ちしております。



令和4年11月6日 令和4年度 芝浦工業大学校友会 栃木支部総会（第21回） 総会集合写真及び状況写真

茨城支部

支部長 増山 栄 建築学科 昭和47年卒業

茨城支部の活動に際して、芝浦工業大学校友会より格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

今年度の茨城支部総会は、令和4年11月12日（土）、「水戸三の丸ホテル」にて3年ぶりに開催することができました。本校監査役の大越雅也様、本校校友会常任幹事兼神奈川支部長の長井義明様、群馬支部長の青木豊治様、埼玉副支部長の作山康様、同じく埼玉副支部長の佐藤勝様、千葉支部幹事の安田俊司様、をお迎え致し、昔

の思い出話や近況報告等について、コミュニケーションを図り総会は大いに盛り上がりました。

今年度は本校の山田純学長の映像によるスピーチの拝覧及び本校在学生による学生インタビューを視聴し、参加者一同が素晴らしい時間を過ごすことができました。

来年度も今年度以上の皆様のご参加をお願い申し上げますと共に全国校友会の皆様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



群馬支部

支部長 青木 豊治 機械工学科 昭和57年卒業

群馬支部は、上毛三山（赤城山、榛名山、妙義山）に囲まれ、関東平野の北に位置した故郷に1500名を超える卒業生が活躍しています。

今年度（令和2年）は、新型コロナウイルスの関係で3月7日の支部総会を中止いたしました（非常に残念）。主な活動内容は、3月に支部総会と懇親会、6月の全国総会の参加、8月に親睦ゴルフコンペ及び暑気払い、10月に工場見学や建築物見学会並びに懇親会、幹事会を5回開催し12月は幹事会並びに忘年会を実施しています。

支部総会並びに工場見学会の状況ですが、会員がそれぞれの分野で活躍されている内容や研究開発している事を30～40分程度の講演として発表頂いています。また、懇親会では、一人一人の近況を1分スピーチとして、群馬支部発足以来伝統的に続けております。会場の様子は、先輩と後輩との会話が活発に展開され、仕事や地域の繋がりとなり、交友の輪が広がっています。

また昨年（令和1年10月）では、会員の原田氏（代表取締役）の会社である『(株)原田・ガトーフェスタハラダ』のラスク製造ラインの見学を実施いたしました。今後も会員の更なるものづくりに対しての探求心の向上、意見の交流、親睦を図って行きます。

結びに、群馬支部では、毎年3月の第1土曜日に総会・懇親会を開催致します、例年40名以上の会員の皆様に出席していただいております。仕事の分野を超えて交流の輪を広げることを推進しております。群馬県出身者・在住者・群馬県で働いている方は、ぜひ一緒に交流をいたしましょう！！ 下記の支部ホームページよりFacebookアドレスへ行けますので、メッセージにて連絡ください。

多くの卒業生のご参加をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/shibauraob/>



埼玉支部

支部長 吉池 富士夫 金属工学科 昭和51年卒業

埼玉支部は、域内に大宮キャンパスを備え「若い校友会会員の参加の拡充」など、支部活動の三指針に基づき、大学や在校生、そのご家族との繋がりを大切に運営しています。

一方、2019年より3年ぶりとなる昨年の10月、コロナ禍により延期していた「支部総会・懇親会」を初の豊洲校舎にて開催しました。新校舎完成による本部棟などの見学を交え、本学の進展をはじめ校友会における取組状況や顔合わせによる意見交換など盛大に開催されました。

加えて、本年4月、支部の恒例行事も再開し県内を“まちあるき”する会「行田市散策と酒蔵巡り」を多数の方々のご参加をいただき、満面の笑顔の中、愉しく語らうことができました。

そして、初のお台場会場となる校友会全国総会を礎に、今年の10月頃「埼玉支部総会」を本拠地の大宮キャンパスでの開催を予定しています。

引き続き、埼玉支部一同並びに埼玉に所縁のある校友の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



千葉県支部

支部長 金井 昭三 機械工学第二学科 昭和41年卒業

千葉県支部は千葉駅周辺を活動拠点としています。新型コロナウイルス予防のため対面での活動を自粛していましたが、本年度は政府のコロナ感染予防緩和措置に伴い、千葉駅を拠点とした本来の活動と成田駅及び柏駅を拠点とした成田分会と柏分会の活動を展開し県内の広域的な連携を深めて参ります。現在会員数は151名です。

2023年度は下記課題に取り組み、会員相互の親睦を深め支部活動の活性化を図ります。

1. 会員の増員（校友会 HP や FB 等の SNS 活用による広報活動の強化）
2. 分会を2ヶ所増やす「木更津・房総分会」・「船橋・市川分会」
3. 若い世代、女性、家族で参加できるイベントの開催
4. 親睦ゴルフコンペの開催（春4月、秋10月）

千葉県在住、県内企業にお勤めの方、千葉に所縁のある校友の皆様のご参加をお待ちしております。



東京総支部

支部長 谷川 潮 機械工学第二学科 昭和45年卒業

東京総支部は2006年・平成18年11月9日に設立され17年の歴史を持ち、現登録会員は297名、顧問在籍数48名です。支部の特色として東京総支部は大学と同じ地域が基盤であるとともに経済活動の中心地にあります。

本学卒業生も多数が経済会等で幅広く活動しており、卒業生の皆様に負担にならない範囲での校友会への協力（各種行事への参加、インターシップの受け入れ及び在校生の就職支援をお願いする。等々）を頂いております。

東京総支部では、大学・校友会と連携を深くするため、顧問就任をお願いしております。顧問への就任に、さら

なるご協力を願っております。

登録会員につきましては是非東京在住・在勤の卒業生の皆様が多数入会され支部の新しい力となり活躍されますことを切に期待します。

令和4年度の総会は3年連続での書面総会となりましたが、令和5年度の総会は豊洲キャンパスにおいて対面による総会を行う予定です。

新規役員の選出が行われ、事業としては、大学100周年事業に協力すること、および、支部活性化につながる事業の課題推進なども承認され、校友会・大学への貢献と同窓の和が広がることを期待しております。



多摩支部

支部長 中根 眞行 工業経営学科 昭和55年卒業

校友の皆さん、コロナは完全に終息しておりませんが、健やかな生活を送られている事と推察いたします。コロナ禍ではありましたが、多摩支部では令和4年度イベントと対面での支部総会を3年振りに実施させて頂きました。総会は大学・校友会本部・近隣支部からのご来賓の皆さんをお招きし校友会が豊洲に移転直後の令和4年10月8日に開催致しました。初めて豊洲校舎を訪問される会員も多かったことで見学会も併せて行いました。総会には昭和34年卒業の先輩から令和3年卒業の

若手に加えて初めて学生さんも3名参加して下さい盛大な会を催すことが出来ました。

しかしながら年間を通じての活動は、中止となったイベントも多く活発なものとは言えませんが、役員一同大勢の皆さん参加のイベント開催と若手を交えての活動の活発化を目指して今年度も取り組んで行く所存です。

多摩地区に在住の校友の皆さん是非支部活動にご参加下さい。



神奈川支部

支部長 長井 義明 建築学科 昭和47年卒業

当支部の活動状況について、11年前から会員相互の親睦を図る為に、毎年恒例の地引網レクリエーションを行ってまいりましたが、この3年間コロナ禍で開催出来ませんでした。今年度は二宮町の（市五郎丸）にて開催すべく、5月14日（日）10時に地曳網を開催しました。

当日は晴天に恵まれ、魚の種類も多く獲れました。食事はバーベキューを用意し、飲物も色々取り揃えてました。役員一同の協力で、盛り上がりました。来年も皆様の御参加をお待ちしております。

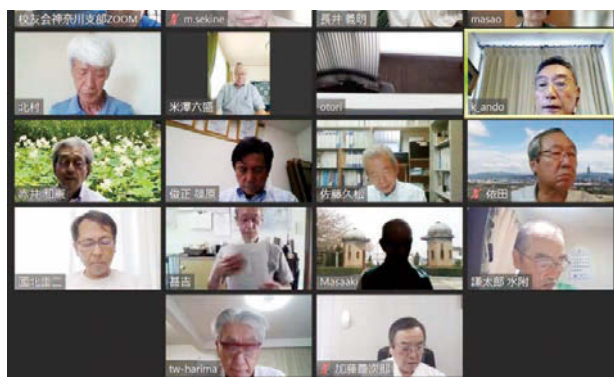
また昨年の11月19日に横須賀軍港巡りを開催し、県内支部の会員が集まり、盛大に挙行されました。

第99回東京箱根間往復大学駅伝にて（競争）、関東選抜学生連合チームで橋本章央さん（環境システム学科3年生）が5区で、箱根路を20.3km走り切り、順位を20位から18位に上げ活躍しました。応援も5区の中継地点で、神奈川支部会員にて応援させて頂きました。

コロナ禍で、支部総会は出来ませんでしたが、今年は、9月3日（日）に横浜山下町の「ローズホテル」で開催

する予定です。秋には、親睦ゴルフコンペと、温泉巡りを開催する予定です。是非、神奈川支部の会員のご参加を、お待ちしております。

これからも、神奈川支部は、若手と女性の参加者を多くして参ります。



長野支部

支部長 北村 武彦 建築学科 昭和45年卒業

令和5年度1月の支部総会は、コロナ禍の状況の為参加者数に制限を加えての開催とし、参加を遠慮願った会員には書面参加としていただいた。

例年、本支部の事業は、校友会全国総会への参加、母校・校友会の要請による協力であって、全会員を参加対象とするものは総会のみである。この事から会員となる意義に不満を持たれる方も多と思われる。その状況下、昨年度の事業は異彩を放った。「コロナ対策学生支援プロジェクト募金」と「キウ国立工科大学人道支援募金」である。支部として過去最高額の事業であって、総会及

び県下3分会総会の事業報告にあっては、大きな矜持を持って会員の喜びとなった。

会員構成は高齢化が進んでいる。若手の会員が欲しい。高齢化が一層顕著になると若手にとっては、気まずさ、共通話題の少なさ、感性の違いが際立ち、会員を敬遠する心情に陥ると思われる。

県下の企業には、校友が複数人在籍するが、プライバシー保護、派閥発生防止のためか、従業員名簿は公表されていない。同僚が校友と知らずにいる社会はさみしい。



山梨支部

支部長 渡辺 一郎 建築工学科 昭和46年卒業

全国の芝浦工業大学校友会の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。山梨支部長 渡辺でございます。

これまでコロナ過の中、感染防止対策のため様々な制限を余儀なくされ、支部活動が何も出来ないまま、今回の執筆依頼が届きました。

前回、活動報告をさせて頂きました際、支部総会参加

者の高齢化・支部会員の減少に歯止めをかけるべく、「若者のご参加を多数いただき支部を盛り上げていきたい」と抱負をお伝えした矢先のコロナ過でした。

令和5年度こそは世の中が平穏を取り戻し、我が山梨支部はもとより、皆様のご健康でそれぞれの支部活動が再開出来ますよう、希望しております。



富山支部

支部長 福井 幸博 地球環境システム専攻 平成23年卒業

富山支部は創立44年目を迎え、会員数は約500名で、主な事業は総会と親睦ゴルフ大会です。令和4年度は、総会前に親睦ゴルフ会を実施、終了後に総会会場の「とやま自遊館」へ移動し、対面で開催しました。ご来賓として大学幹部、及び校友会会長様にご臨席頂き、会員14名が出席し交流を深めました。

令和5年度事業では、県内校友の交流活性化、大学・校友会本部事業に参加するという方針のもと、令和4年

度総会出席者から豊洲キャンパスの見学の要望が多くありましたので、6月の全国総会に合わせ実施する計画です。ゴルフでは、首都圏の理工系六大学の卒業生が平成元年に始めた東京理工六大学OBゴルフ大会に第1回から毎年参加し、母校の名誉をかけ熱戦を繰り広げています。地元や地域外の校友との広域ネットワークの構築にも取り組み、富山支部会員が豊かな人生を手に入れることを目指し活動しています。是非、ご参加をお願いします。



石川支部

支部長 多田 哲則 建築学科 昭和54年卒業

令和4年度の支部総会は令和4年10月22日(土)に、来賓として校友会から加藤会長、福井副会長、大学から野口常務理事をお迎えし、3年ぶりに対面形式で開催することができました。開催を決定した時はコロナ第7波の真只中で、無事開催できるか全く予想がつかない状況でしたが、幸いにも波が収束し落ち着いた状況の下での開催となりました。

総会では来賓挨拶の後、山田学長のメッセージ動画を視聴し大学の現状と100周年に向けた取り組み等を詳

しく知ることができ、母校の更なる発展を期待させるものでした。

続く懇親会では感染予防のため恒例の校歌斉唱はできませんでしたが、代わりに新日本フィル&オペラ歌手望月哲也さんの校歌映像を静聴し、皆その迫力に圧倒されていました。

コロナの影響で総会以外の行事は全て中止となりましたが、本年度はコロナ以前のような支部活動ができることを願っています。



福井支部

支部長 永井 弘明 建築学科 昭和53年卒業

福井県支部は、校友会本部及び北陸ブロックとの連携を図り、また福井県支部会員相互の親睦を図ることを目的として活動しております。

今年度も高齢の会員が多いことからコロナ感染防止の観点から、残念ながら止むを得ず集まっての総会、新年会は中止する判断をしました。また会員が県内各地の高校へ出向き、芝浦工業大学の魅力を発信し、受験者拡大

の活動も中止する判断をしました。次年度の活動と再会を、支部会員や各方面に楽しみにしてほしい旨を伝えました。

元会員で、福井支部会長を務められ本支部に多大なご功績を残された 高久 肇様のご逝去されましたので、葬儀に参列し会からのメッセージをお渡しいたしました。



岐阜支部

支部長 平井 良樹 工業経営学科 昭和57年卒業

この度のコロナ禍では会員の皆様におかれましては、大変な状況のことだったと拝察申し上げます。

さて、岐阜支部では、支部総会を毎年7月第3週土曜日に開催することになっていますが、2022年は残念ながら支部総会は開催が叶いませんでした。例年では、現役多治見市長の古川氏をはじめとして、毎年20名前後の方にご参加いただいております、毎年少しずつ増えてきています。

支部総会は毎年、岐阜市で開催していますが、岐阜県

は大変広いので今後は飛騨市などでも支部総会を開き、さらに参加しやすい環境を整えたいと考えております。

信頼し合える仲間が集い、情報交換をし、友情を深めることにより、さらに有意義で充実した支部にしていきたいと考えておりますので、支部総会案内が届きましたら是非ご出席で返信していただきたく思います。

一人でも多くの参加をお待ちしております！



静岡県同窓会支部

支部長 狩野 行宏 工業経営学科 昭和55年卒業

令和4年10月8日に第44回総会・懇親会を開催することができました。本総会で鈴木前支部長から引き継ぎ、静岡県同窓会支部長を拝命致しました。

例年7月に開催してきましたが、コロナの状況から10月へと延期の判断をいたしました。例年会場となっていた「クーポール会館」もコロナの影響で廃業しましたが、静岡駅に近い「第一ホテル」で開催することができました。

3年ぶりの開催で、参加していただけるか不安でしたが、多くの皆様に参加していただき、感謝申し上げます。また、伊代田教授にはコンクリートのCO2問題についての講演を聴講し、興味深く聞かせていただきました。

令和5年7月8日に総会・懇親会を開催します。先日、久しぶりにお酒を交えた幹事会を開催し、総会・懇親会に向けて準備を始めました。会員の増強を目指した活動を展開してまいります。



愛知支部

支部長 野村 憲司 金属工学科 昭和58年卒業

皆様こんにちは 校友会愛知支部で2022年度より支部長を仰せつかりました野村です。コロナに翻弄される中での活動を続けてきましたが、昨年12月11日に2022年度支部総会を対面で行うことができました

大学（学校）からは事務局長の満重信之理事にご祝辞を、校友会監査役でシステム理工学部の作山康教授にご講演をいただきました。

また静岡同窓会からは丹羽左京さん、後援会東海支部からは鬼崎充司さんにもご出席いただき、総員33名で懇親会を行うことができました。

今回、支部長を引き継いで3年ぶりに総会を準備するにあたり、連絡方法の見直しに着手しました。総会案内の配信にあたって支部会員のアドレスを再確認して約

180名の方にご案内しました。

今後は学校から配信される母校の活躍や状況報告について、負担なく皆さんにお伝え出来ればと思っています。



岡山支部

支部長 沖本 光昭 通信工学科 昭和45年卒業

岡山支部においては、3年ぶりの総会・懇親会を令和4年7月に開催しました。

総会では、（沖本）支部長の開会のあいさつから始まり令和4年度の役員改選、活動計画、同予算への承認を行いました。休憩をはさんで、植田支部顧問の乾杯の音頭のもと懇親会となりました。

『やあ、しばらく会わなかったけど、元気にしようたんじゃなあ……。』

どことなくそんなお国言葉が、飛び交っているような雰囲気でした。

役員会は、令和4年5月、10月、令和5年2月に開催しました。校友会支部、大学に関連した身近なことから、話題は、

『支部の活動をどのようにして活性化しようか？』

『岡山からの入学生を増やす手伝いはどうしようか？』の2点についての具体策の検討です。



島根支部

支部長 浅野 正教 建築学科 昭和45年卒業

島根支部の登録人数は60名弱ですがだんだん減りつつあります。総会などへの参加は10人に満たないということがほとんどです。3ヶ年度に渡って対面での総会は見送っています。次年度こそはと思うと同時に立て直しを考えていかなければとも思います。

芝浦の卒業生がほとんど地元に戻ってこないため会員が増えず、平均年齢のみが上がっていく現状です。地元

の有力高校でも推薦枠がなくなったなど、首都圏での隆盛などを聞くと、より地方では芝浦離れが進んでいるのかもしれないと思っています。会員は減っていくばかりの当支部です。芝浦をもっとアピールでき、卒業生が集まれる何かを作っていく必要があります。芝浦工大での研究活動など、もっと紹介して頂ければと思っています。ともあれ、連帯を深める何かが欲しいですね。



平成 31 年度総会

広島支部

支部長 川本 勝一 建築学科 昭和49年度卒業

今年度は設立40周年を迎え、会員相互の親睦を計る最大のイベントである定期総会を、「第41回定期総会・40周年記念事業・懇親会」として2022年11月11日（金）に開催しました。40周年記念事業として本校卒業で元西武ライオンズ監督の伊原春樹様の講演を催し、出席者数は72名で、ご来賓を含めると77名とこれまでにない多くの人数で開催することができました。

また、会員親睦を図るイベント活動はコロナの影響で、大幅に減少しましたが、ゴルフ1回、釣り1回、囲碁

1回、ハイキング・登山2回を実施しました。残念ながら、音楽バンドは実施できませんでした。

当広島支部では、多くの会員と豊富な実績で存在感のある広島支部をモットーに、①「定期総会・懇親会に継続可能な出席者を獲得し、持続的成長可能な支部づくり」、②「会が目的とする会員相互の親睦を図り、モチベーションを高める仕組みづくり」これを会員一丸となり“静穏精進に敵は無し！”更なる支部の発展を目指しています。

第41回定期総会・40th記念事業・懇親会
〔土木・建築・建工〕



〔機工・機Ⅱ・金属・工化・電気・通信・電子・工経〕



〔ご来賓以外、学科別：2グループ〕

山口支部

支部長 福田 隆行 土木工学科 昭和50年卒業

平成5年に発足した当山口支部は、令和4年で29年目を迎えました。

会員数は70名ですが56パーセントが70歳以上の高齢者で、年々会員が減少するのが悩みの種です。毎年活動の主軸は、総会に併せ会員相互の親睦を図るための親睦ゴルフと総会、懇親会です。

今年もコロナが減少した11月12日の土曜日に快晴の「山口レインボーヒルズ泉水原ゴルフクラブ」で親睦ゴルフコンペを行い、その後湯田温泉の「セントコア山口」において、総会と懇親会を開催しました。

参加者13名と少人数ではありましたが、10年来の

病を克服し参加いただいた先輩会員や不況で仕事が大変な中、唯一楽しみにしていると出張先から駆け付けてくれた後輩会員等で、大いに盛り上がりました。

全員の近況報告に続き、親睦ゴルフの表彰式、校歌斉唱、応援団（元空手部）の先輩によるエールで最後を締め、会を無事終了することが出来ました。

ご参加頂いた皆様には大変感謝しています。

今年度こそは、コロナが安定期に入り、以前のように本部・大学から来賓をお迎えし、多くの会員と楽しく総会が開催出来ることを願っています。

(令和5年3月10日)



香川支部

支部長 田岡 哲也 金属工学科 昭和57年卒業

香川支部では、2019年4月20日に「第13回香川支部総会」を開催して以来、コロナ渦の影響で、2020年～2022年の3年間は、対面での総会は、中止となりました。

その間、校友会支部間の交流も途絶えがちでしたが、3年ぶりに対面での総会を開催するべく準備を進めております。

2023年度からは、従来どおり他支部様との交流も徐々に再開し、夏にうまいビールを飲みながらの暑気払い、冬に忘年会また、芝香里杯（香川支部ゴルフコンペ）も再開し、支部会員相互の親睦を深めていきたいと考えております。

香川県在住の方、香川県との関係が深い方、香川支部活動に気軽に是非参加お願いします。



愛媛支部

支部長 児山 均 機械工学第二学科 昭和49年卒業

昨年11月19日に3年ぶりに愛媛支部総会を開催しました。5月に役員会をして、7月に愛媛支部だけでも総会をしようと予定していたのですが、コロナの感染が拡大したので延期になりました。2年前から要望のあった今治出身の菅和利先生の講演も聴く事が出来ました。参加者が少ないので、許可を貰って菅先生の講演のビデオも撮りました。本学の創立者有本史郎先生と興居島出身の宮本武之輔先生との関わりについての講演でした。総会に出席出来なかった会員にビデオを送りたいと思います。2005年に興居島に宮本武之輔の銅像が出来てい

たのを聞いて、ぜひ興居島に行ってみたいと思いました。今年の行事は愛媛支部の会員で興居島の宮本武之輔の銅像の見学ツアーに行くこと。そして11月頃に愛媛支部総会をすることです。又、香川と高知支部から総会の案内が来ているので、愛媛支部からも参加したいと思います。

最後に事務局長は新田 聡さんに替わりましたので、今後愛媛支部が活性化するよう宜しくお願いします。

校友だより 愛媛支部



高知支部

支部長 山本 茂和 通信工学科 昭和51年卒業

高知支部では令和4年4月に開催した通常総会において、任期満了に伴う役員の改選を行い、支部長を含め新役員体制になりました。引き続きよろしくお願いします。

支部活動は令和4年度も新型コロナウイルスの影響で、総会は書面開催、親睦会と忘年会は中止するなど活動は低調でしたが、屋外での親睦ゴルフについては会員の親睦を深めるべく実施することができました。

令和5年度の総会は政府の新型コロナウイルス対応

方針などを踏まえ、一定のコロナ対策を施したうえで、3年ぶりに対面実施することにしました。現在、大学・校友会本部、四国の他支部、後援会四国支部の方々にもご参加いただくべく準備を進めております。

コロナ禍により支部会員とのコミュニケーションも不足になっておりますが、今年度は、若手会員の参加、会員相互の親睦、他支部等との交流などに向けて活動してまいりたいと考えております。



大分支部

支部長 平井 寛行 通信工学科 昭和52年卒業

令和5年を迎え新型コロナウイルス感染症の位置づけが「2類相当」から「5類」に緩和されることになりました。しかしまだ終息したわけでないので安心は出来ません。

昨年は6月に全国総会が開催されました。私は初めての参加でしたが、各支部の方々とお会いし話も弾み情報交換をすることが出来大変有意義な時間となりました。当日前大分支部長の河野元勝さんが功労者表彰を受け、私も大分支部の発展のために努力をしたいと思いました。

昨年も大分支部総会ができず残念でしたが、10月22日（土曜日）に役員幹事会を開催して全国総会の報告をしました。合わせて令和4年度の決算を承認していただきました。

今年は6月の全国総会が終了次第役員幹事会を開き、その後校友会大分支部総会を4年ぶりに必ず開催したいと考えています。

最後に芝浦工業大学校友会と全国校友会会員の益々の御発展とご健勝をお祈りいたします。



福岡支部

支部長 角 敬之 工業化学科 昭和45年卒業

コロナウイルス感染対策で3年間支部総会開催を断念しておりました。今年こそはとは決心し、事務局長らと相談して今回の開催時期を通常より遅い秋（11月5日）として会場選定したうえで役員会において決議、細かな準備作業に入りました。

しかし、コロナ禍の状況の改善傾向が見られず、さらに事務局に予期せぬ事態の発生もあり、時期変更を検討するも会場確保の目途が立たず、残念ながら支部総会開催を断念せざるを得ないこととなりました。

そこで、支部活動の代替策を検討行いました。

校友会全国総会と並行して開催された支部長連絡会において、入学試験指定校に関する情報提供する趣旨の報

告があったことを思い出し指定校への挨拶回りを行うことしました。

早速問い合わせ指定校名の教示を求めて、指定校訪問を実施いたしました。

『広報 芝浦』、『THE 世界大学ランキング日本版（'18～'22）』の主要大学の抜粋一覧表、『2021年有名企業400社就職率ランキング』等の資料を持参して指定校の校長先生を訪問して本学の現状等の資料を基に説明し、推薦依頼を行ってきました。

現在、支部体制を強化して令和5年度支部総会開催に向けて力強く動き始めております。



宮崎支部

支部長 長池 正恕 電子工学科 昭和50年卒業

新型コロナウイルスの影響もあり、3年間、宮崎支部の支部活動も制限されてきました。そのような中、6月に行われた2022年度全国総会において同支部の横山勝徳氏が2022年度功労者表彰を受けました。第2代目の支部長として、平成9年の芝浦工業大学創立70周年事業で、宮崎出身の長友教授が担当された“宇宙”をテーマにしたフォーラムを同市で開催。高校生らを招待するなど本学のPRに努められました。

また、7月には同支部副支部長の碓山氏が橋渡し役となり、本学駅伝部の前田直樹監督、柏木朋也コーチと共

に都大路の常連校でもある小林高校駅伝部を訪問。近い将来、同校駅伝部出身の学生が本学駅伝部のユニフォームを着て箱根駅伝を走ることもある。

会員数29名と小さな支部ではありますが、温暖な気候に恵まれ元気に活動しています。2023年度支部総会では、昼はゴルフ、夜は地元の焼酎を片手に海の幸や山の幸を堪能し、親睦を深めたいものです。

人事異動や移住などをされる方がいましたら、ぜひ入会をお願いします。



熊本支部

支部長 永田 昂生 土木学科 昭和42年度卒業

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で校友会の活動もままならない状況であり、令和4年度は熊本支部定時総会をはじめその他の行事も中止にさせていただきました。定期的に開催していた役員会は、小人数ではありますが、辛うじて開催し、令和4年7月21日と令和5年3月3日に熊本支部の会計状況の確認を行っています。今年度は9月に熊本支部総会を開催する予

定です。2年度分の報告を予定しています。

令和5年度は、熊本支部総会・懇親会の開催に向けて5月10日・11日で水俣において準備役員会を行い万全を期す所存です。多くの同窓の皆様のご出席をお待ちしています。詳細が決定次第、ご連絡させていただきます。



佐賀支部

支部長 山田 清人 通信工学科 昭和48年卒業

ここ数年は支部会員がコロナに感染するなどのため、お互い対話する機会が少なくなっていました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類に移行され、行動の制限がやっと緩和されてきました。

支部活動はメールや電話での情報交換に制限されていましたが、今年の1月に久しぶりに対面での役員会を

実施いたしました。フェイス to フェイスでの懇親会は、まずはお互いの体調の確認から始まり久しぶりの対話に話が弾みました。

新しい会員の加入が難しい状況ですが、定年後の移住されている方など会員を募っています。今年は支部総会が開催できるよう準備を進めています。



長崎支部

支部長 藤本 博文 工業化学科 昭和61年卒業

新型コロナの影響で2022年も対面での支部総会を開催できる状況でないということで、PRに重点を置いた活動になりました。

ただ、例年ですと動画を流す時間帯の調整のみでしたが、西九州新幹線開業や縮小されていたイベントの再開などがありましたので、それらの関連イベントの時間に合わせてPR動画を集中的に流すことに力を入れました。

また、正月には箱根駅伝応援と駅伝部のPRを兼ねて動画に応援テロップを入れて流し、大学の活動状況を周知できるようなことも行いました。

2022年11月には附属中学・高校の敷地に蒸気機関車が設置されたのをうけ、撮影に行きました。

PR時は動画だけでなくこのような大学関連写真の撮影枚数を増やし活用しています。

添付の写真は箱根の応援テロップを入れたときの動画と設置された蒸気機関車です。



鹿児島支部

支部長 小藺 定夫 建築工学科 昭和48年卒業

ホントに嫌になる程、全国的・世界的に感染が長引いているコロナです。もはやその『収束』は有っても『終息』は無いのかも知れません。

そのような中、昨年末にコロナ感染者増減の波間を狙った形で3年振りに支部（芝鹿会）の「忘年会」を開催しました。連絡後に感染者数の極端な増加次第では、取り止めも有ると疑心暗鬼の中、参加も自己責任下の《忘年会》と通知しました。

結果的には、怖い物知らず（慈愛溢れる者？）がナント14名も居ました。例年の支部総会時の参加数の約半数の賛同が得られました。会の中では、この3年間の校友会本部の出来事をはじめ支部内の訃報や幹事長・役員の交代等を紹介して和やかなうちにお開きとなりました。

嬉しいことに、久しぶりの語らいで心豊か？になったのか、いつになく酒量の進んだ者もありました（笑）。人はこのように面と向かい会って談笑することが、如何

に大切な事なのかを夫々肌身で実感していた様でした。

今5月からは、第5類感染症に移行するとのことですが、科学的根拠のもとに気兼ねなく友と接することの出来る社会の到来を願っています。



沖縄支部

支部長 仲西 聡 土木工学科 昭和56年卒業

穏やかな日ざしにいつしか春の訪れを感じる季節となり、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

校友会沖縄支部は、会員数が70名あまりで常時参加者は10～15名の小さな組織です。また本大学の新卒業生も沖縄地元の出身がほとんどいない状況ですが、今年度は新たに1名の会員が加入しました。新規加入者は記憶にも残らない程、久しぶりの出来事でした。

さて、沖縄県の近況は、全国と同様に新型コロナウイルス感染症は収束してきましたが、昨年同様に観光業、飲食業から関連業種においても前半は大きな痛手を受けました。後半になるとコロナ収束に伴い依然の集客に近

い状況にまで回復してきました。

このような状況の為、昨年の活動は幹事会を1度開催するに終わりました。唯一、新規の加入者があった事が嬉しい出来事でした。今年はコロナ以前のような計画を実行できればと思っております。

下記の写真は、3年程同じなのですが2019年6月の支部総会・懇親会で、「コミュニケーション大事!」と「参加して楽しい!」をキーワードにしようという事で、ビーチでの開催した時の模様です。

これからも色々工夫して沖縄支部の存続を維持して行きたいと思います。



新加入 比嘉哲登さん



上海支部

支部長 照沼 昌弘 金属工学科 昭和61年卒業

上海支部は海外支部として2016年1月に設立され、本年度で8年目を迎えることができました。在籍者は上海市を中心に蘇州市やその他華東地区在住の卒業生で構成されています。

本年の在籍者は15名。前年から5名が新たに加入し、4名が異動で退会されました。数年間続いたコロナの影響なのか、入れ替わりが激しい年となりました。

上海では校友会や県人会に加えてスポーツや趣味の

サークルも多数活動しており、在籍者が100名を超える団体もあります。その中でも当支部は、多種多様な業種、年齢や出身地の異なるメンバーで構成されており、継続的にスポーツ、食事会で交流を深めています。

昨年は計画の活動が制限され残念な思いをしましたが、本年は食事会、ゴルフコンペ（目標6回／年）、上海山形県人会合同の「芋煮会」を行う計画で、参加者全員で和気あいあい楽しみたいと思います。



シンガポール支部

支部長 長尾 剛 建築工学科 昭和61年卒業

シンガポール支部は、2013年12月に設立され、今年で丸9年目を迎えることとなりました。2022年末時点で25名の方がシンガポール支部に在籍されています。

2022年6月11日開催の全国総会にて、シンガポール支部の創設に寄与されるとともに、2013年から2016年までの4年間（シンガポール）支部長として、支部の運営ならびに発展に貢献され、その後も顧問として支援していただいている橋本雅夫さんが、功労者表彰を受賞されました。

「今年度は、シンガポール支部の創設に寄与されるとともに、2013年から2016年までの4年間シンガポール支部長として、支部の運営ならびに発展に貢献され、その後も顧問として支部を支援していただいた、橋本雅

夫さんが、2022年6月11日開催の全国総会で、功労者表彰を受賞されました。」（原文）

今年度も昨年と同様、新型コロナウイルスの影響による人数制限などがあり、会員の皆様とお会いするような機会を設けることが出来ませんでした。一方で、2022年末以降は、シンガポールでも、水際対策も緩和され、旅行者も徐々に増えてきています。また、2023年3月以降はマスクの着用の制限もなくなり、ほぼコロナ前と変わらないような生活をおくれるようになりました。

2023年度は、夕食会やボーリング大会などを企画して、会員の皆様が集まれるような機会を設け、コロナ前と同じように親睦を深められるようにしていこうと考えております。



2021年9月17日（金）鶏内 慎祐さんの送別会

MOT同窓会支部

支部長 西河 洋一 大学院工学マネジメント研究科 平成21年卒業

MOT 同窓会支部は、2003年に日本初の技術経営の専門職大学院として開設された、芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科（MOT）の修了生が技術経営の知識をより深めることを目的に開設されました。最終年度の第15期生までの修了生266名が正会員です。2019年3月に芝浦工業大学MOTが終了してからは、正会員に加えてMOTで教鞭を執られた先生方も顧問会員になっていただいています。また、MOT同窓会支部のホームページ（<https://sit-mot.org/>）を開設し、情報発信を継続しています。

2022年11月25日に、3年ぶりの対面開催となる支部総会を開催いたしました。会場は芝浦工業大学豊洲キャンパスに2022年に完成した本部棟の教室で、19名の同窓生が集いました。総会後には、6期生の池野成雄氏（株式会社バンガードシステムズ 取締役会長）の特別講義、本部棟の見学を経て懇親の会に席を移し、交流を深めました。



機械工学科同窓会支部

支部長 高木 光一 機械工学科 昭和48年卒業

本支部は、校友会唯一の学科同窓会支部として2012年に設立されました。

機械工学科同窓会としての活動は、昭和47年頃から定期総会を開催するなど、活動を進めてきました。昭和50年代からは、会員相互の親睦を図るとともに、芝浦工業大学機械工学科のよき伝統を傳承し、社会に貢献することを目的に、同窓会会報の発行、同窓会総会、幹事会、講演会、親睦会、懇親会などの事業を行ってきました。

2020年度から続くコロナ禍にて、2022年度も会報

発行中止など主な活動を休止し、支部総会は書面での開催とし、約600名の同窓生へ議案書を送付、約140名から承認の返信があり、すべての議案が承認されました。

コロナ感染の収束を願いつつ、年度後半では対面での役員会や幹事会を新装なった豊洲キャンパスで開催し、同窓会支部活動を復活させるべく活動を開始しました。

年度末の卒業証書授与式では機械工学科卒業生へ、同窓会支部から記念品を贈呈し、支部長挨拶を対面にて久しぶりに実施しました。



2019年度 総会・懇親会
2020年1月25日(土) 於：豊洲キャンパス

英交会支部

支部長 篠原 俊正 金属工学科 昭和54年卒業

英交会支部長の篠原俊正です。支部長を拝命して早3年目を迎えこの間、常にコロナとの闘ぎ合いを余儀なくされました。

厳しい状況下であっても、感染減少期の間隙を縫うように、リモート開催による総会や、現役学生との交流会、または忘年会など、ギリギリの選択ではありましたが、会員のご理解とご協力のお蔭で開催することができました。

今のところ政府は5月にコロナによる感染症を現在の第2類から第5類に移行する予定です。油断は禁物

ですが、感染が大きく減少している現状や国の方針等を踏まえ、今期においては全ての事業を原則対面で実施することになっています。

しかし、コロナがもたらしたものは悪いことばかりではありません。例えばリモートを併用するイベントでは、遠隔地に在住の会員や、所用で会場に来られない会員も参加可能となりました。

コロナ禍で得た貴重な経験を今後に活かし、更なる会の活性化を図ってまいります。Beyond コロナへ！



黒潮会支部

支部長 岡野 浩一 建築学科 昭和58年卒業

空手道部OB会の黒潮会は、平成13年12月に校友会支部臨時総会を開催し平成14年度黒潮会支部としてスタートし今年で22年目を迎えます。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症は収束に至らない状況でしたが、3年ぶりに一堂に会する総会を令和4年12月3日に開催しました。校友会会長加藤先輩と満重事務局長にご来賓としてお越しいただき無事に終えることができました。また、終了後には卒業生送別会並びに新役員発表会を豊洲キャンパス生協にて開催し学生とともに一年の締めくくりを納められ嬉しく思います。

今年度は、全日本理工科系学生空手道選手権大会並びに東都六工大大会の主管校として開催します。多くの先輩方と学生とで力を合わせて是非とも充実した大会になるよう努力いたします。

学生は稽古に励んで試合に臨み、また他校学生やOBとの交流を図り学生生活の良き思い出となることを願っております。

一年を通じ黒潮会支部が尚一層まとまり、校友会支部として校友会並びに母校の発展に寄与していきたいと存じます。



二部ワンダーフォーゲル部OB会支部

支部長 伊藤 孝夫 二部機械工学科 昭和51年卒業

今年に入り、新型コロナウイルスの感染が縮小し始めてまいりました。国や東京都も解除に向かい、感染前の生活に戻りつつあり、OB会の活動も以前のように、行えるようになって来ました。

昨年は、中止した芦ノ湖キャンプの企画に替わり、6月に日光でのキャンプ&釣りを企画し、実行することが出来ました。

毎月の定例会はウェブミーティングを開催し、海外在

住の会員とも交流を図っていましたが、昨年11月には、2年ぶりに対面でのOB会支部総会を豊洲校舎で開催し、22名のOBが集合しアメリカ在住のOBとも、オンライン接続しました。

令和5年度は、これまで以上の活動を目ざし、対面でミーティングやウェブミーティング以外に、バーベキュー&釣りのデイキャンプや低山へのハイキングなど、屋外での活動を行ってまいりたいと思います。



錬心会支部

支部長 飯島 敏春 機械工学科 昭和54年卒業

芝浦工業大学剣道部は創部62年、校友会錬心会支部として承認をいただいてから14年を迎え、日本各地、世界で活躍される250名あまりの会員がおります

剣道は年齢を問わず行える武道です。学生と春夏の合宿や合同稽古にて共に汗を流しております。

コロナ禍の中、活動制限がかかり、日常の対面稽古が激減し、自主トレに費やす日々が続いておりました。そのような環境下において、現役の学生が個人戦にて予選を勝ち抜き、全日本学生剣道大会に出場できたことは、非常に良い経験になったと思います。

令和4年12月には3年ぶりに学連剣道大会が開催され、OB2チームが出場しました。

試合前後には、後先考えない芝浦名物の熱のこもった稽古で、先輩後輩の絆が垣間見られた一時でした。

令和4年度の支部総会は、書面審議としましたが、今年はコロナが収束し、学生と共にさらなる精進をしていきたいと思っています。

支部長	飯島 敏春	機械工学科	昭和54年卒業
副支部長	筋野 豊司	機械Ⅱ学科	昭和56年卒業
副支部長	福本 宏昭	機械工学科	昭和56年卒業
幹事長	角田 隆二	土木工学科	昭和59年卒業
監査役	米山 則行	金属工学科	昭和59年卒業
監査役	新井 憲法	工業化学科	昭和61年卒業
監督	上原 厚	工業経営学科	昭和60年卒業
助監督	松井 宏修	電気工学科	昭和57年卒業
事務局長	進木 正博	機械工学科	平成1年卒業
事務局	増田 隆行	工業化学科	平成3年卒業



2023年03月卒業生送別稽古会

柔道部OB会支部

支部長 間中 豊 建築学科 昭和55年卒業

芝浦工業大学柔道部は創部66年目に入り、OBは各界で活躍しております。コロナの影響でOB会総会は、残念ながら昨年同様書面議決で行われました。

そんな中、朗報もあります。部員や監督、OB会の積極的な勧誘が功を奏して部員が増加し、女子部員2名も加わって部が活性化しております。コロナ禍の中の制約された状況の中、部員達は精一杯稽古に励んでおります。

夏に千葉で開催された理工系大学柔道部の合同合宿には、OBも参加して共に汗を流しました。春の甲府での合同合宿練習会には、若いOBも沢山参加して共に稽古に励み、大いに盛り上がりました。

今年もOB会では稽古や合宿に参加して研鑽することはもとより、新入部員へ柔道着の寄贈も継続します。また、これまで3年間出来なかったOB会員同志の交流を深める活動を拡大していく予定です。



ギター部OB会支部

支部長 神野 兼次 建築工学科 昭和49年卒業

ギター部OB会支部は、現役の「ギターアンサンブル部」の発展に寄与すると共に会員相互の交流と親睦を図り、大学並びに校友会の発展に寄与する目的で活動しております。

2019年11月に支部総会を3期連続で開催後、コロナ禍の影響で中断しておりましたが、状況改善が実り急遽会員と現役の協力のもと今期末に開催することが出来

ました。

今回の支部総会は「校友会館」、懇親会は「銀座シリア」にて行い全員で新校舎を祝うことが出来ました。大学並びに校友会の関係者各位に感謝申し上げます。

当日はWeb参加者や現役も含め、多数の参加で大いに盛り上がりました。来年以降のスケジュールを確認し合い、再開を約束して解散の運びとなりました。



芝浦技術士会支部

支部長 片桐 勝広 電気工学科 平成2年卒業

当支部は、支部会員数約 200 名を擁し、日本技術士会と連携する大学別の組織です。過去約 3 年間はコロナ禍の影響ですべての活動がウェブ会議方式で行われておりましたが、11 月の技術士フォーラムから対面方式を復活させることができ、ようやくかつての活気が戻ってまいりました。

当支部における現在の主な活動は、①技術士フォーラム、②本校学生向け技術士制度説明会開催、③大学技術士会連絡会（大技連）との連携、④日本技術士会との連

携（同全国大会への役員・支部会員派遣含む）、⑤企業内技術士交流会との連携、⑥技術士二次試験対策講座開講（建設、機械、電気電子）と多岐にわたります。

また、当支部で年 2 回開催している技術士フォーラムは、技術士資格の有無を問わず参加可能です。開催前に校友会事務局から各支部長あてに開催のご案内を配信しておりますので、興味のある方は遠慮なく参加ください。

以上



硬式野球部OB会支部

幹事 森本 静 工業経営学科 昭和50年卒業

2022 年「硬式野球部 OB 会支部総会」は、新型コロナウイルスの影響により書面開催を続けておりましたが 3 年ぶりの対面式で 11 月 12 日（土）豊洲キャンパス 校友会館にて開催しました。参加人数は新型コロナウイルスの影響もあり 10 名となりましたが久々の集いにて大いに盛り上がりしました。

今回の総会にて前野会長から、長野会長（平成 16 年 材料工学卒 春日部東教諭 硬式野球部監督）への交

代をいたしました。前野前会長からは数年前より退任の強い要望があり、さすがにこれ以上お引留めする訳にもいかず参加者全員にて承諾する事となりました。前野前会長には硬式野球部及び校友会の発展にご尽力賜りありがとうございました。これからは長野会長を中心に硬式野球部発展の為邁進いたします。早速、長野新会長には例年野球部に寄贈するバット・ボールの贈呈式にご参加いただきました（写真）。



ハンドボール部OB会支部

支部長 井出 恵尉 工業経営学科 昭和47年卒業

去る2022年10月29日(土)豊洲の新キャンパスにおいて、ハンドボール部OB会総会が3年振りに対面で開催されました。新型コロナの感染がまだ収束していない中ではありましたが、80代の大先輩を含めて13名の会員が集まりました。遠くは山口からも駆けつけていただき、旧交を温めました。

昨年は大学の広報誌芝浦「しばうら人卒業生の今」にて紹介もされました伝統あるハンドボール部ですが、現役はここ数年のコロナの影響もあり満足な活動ができず

部員数が減少しています。ただ、2022年関東学生男子6部秋季リーグ戦においては5勝1敗1分けと好成績を収めており、今後の活躍を期待しているところです。試合観戦が可能になりましたら、ぜひ応援宜しくお願い致します。

今年も10月後半に対面での総会開催を新しく完成した豊洲校舎で計画しています。ぜひ多くの方の出席をお待ちしております。



ソフトテニス部OB会支部

支部長代行 大木 茂 II部機械工学科 昭和50年卒業

私共はソフトテニス部OBを主体とし、会員同士の親睦と在校生部員の援助を目的とした支部であります。会員は日本選手権を含め各地域の大会で今も活躍しております。

また、その技術を在校生諸君へ伝えるために監督、コーチの派遣、用具の寄付などの援助も行っておりまして。過去3年間は会員同士の親睦を含め自粛を余儀なくさ

れた次第ではありますが、本年は活動再開の期待が見え、その方法を模索しております。

添付写真は、過去の大宮キャンパスでの総会写真ですが、このような会員同士の親睦在校生諸君との交流、援助が再度出来る日を改めて待ちたいと思います。

今後も支部及び校友会の発展に、寄与出来るかを模索してゆく所存であります。



ヨット部OB会支部

支部長代行 菊池 邦仁 金属工学科 昭和60年卒業

今年はコロナの行動制限も緩和され、以前の活動に近づきつつあり、嬉しく感じております。

昨年はコロナ禍でもあり OB 会の旅行等は延期となりましたが、役員会・OB 総会などは Web で行いました。Web の懇親会は遠方の方も参加し、各自お酒・食べ物を準備して、グループ分けなどもあり会話が弾み新たな形態ができました。

現役ヨット部の活動は、練習・合宿において制限のあ

るなか勢力的に活動してくれていました。昨秋の関東女子インカレでは好成績を残し、全日本学生女子ヨット選手権大会にも出場を果たしました。

ヨット部を卒業した OB・OG は、合宿が多かったこともあり、今でも現役の活動、OB 会の行事、クルーザーヨットレース等でも交友があります。来年の創部 60 周年記念では、皆が集い生涯スポーツとしてヨットとの関わりが増えるように望んでいます。



スキー部OB会支部

会長 小川 博司 工業経営学科 昭和45年卒業

校友会の皆様におかれましては全国各地でいろいろな分野で御活躍の事と心からお慶び申し上げます。

当スキー部 OB 会総会は 2022 年 9 月 3 日（土）に大学から山田学長、野口常務理事、飯島校友会副会長、そして北海道支部の井上幹事長のご出席を頂き二年ぶりに開催いたしました。

懇親会ではスコットランドなどの伝統的なバグパイプの演奏を聴き入ったりと楽しみました。

当日総会の中で議題となりましたのが、校友会スキー部 OB 会支部の呼称の件でありました。

スキー部 OB 会は校友会傘下になり同好支部として参画しており、その呼称は「校友会スキー部 OB 会支部」となっています。

しかしながら、この呼称がなじまない事が日々の活動で起きているための議論でありました。

1. 北海道以外に在住のスキー部 OB からスキー部の本部は北海道であり、「OB 会支部」とは？
スキー部 OB 会の代表者は支部長ではなく、代表の呼び名は OB 会なので「会長」である事。
2. インカレで活動した各大学のスキー選手の OB 会が例年 30 大学ほど集まり、インカレ会を開催しておりますが、その際、名刺交換するにあたり「芝浦工業大学校友会スキー部 OB 会支部支部長」としての名刺はなじまない事。

以上の事から名刺だけ違う名称にする事も考えましたが、やはり統一する事が望ましいと考え、非公式ながら総会では全員一致となりましたので紙面をお借りしてご報告いたします。



熱流体力学研究会支部

支部長 富山 博明 機械工学科 昭和57年度卒業

熱流体力学研究支部は、岡本史紀先生の流体力学研究室と角田和巳先生のエネルギー変換工学研究室の600名を超える卒業生で構成される支部で2017年に設立した支部です。

支部の基本理念である①岡本研究室および角田研究室卒業生の親睦、②現役の角田研究室在校生の支援、を目的とした『先端技術フォーラム』では、卒業生による会社紹介・技術紹介・製品紹介、在校生による研究発表、移転が決まっていた芝浦キャンパスとして最後の『支部総会』とリアル・リモート併用会議で同時開催し、卒業

生の皆様にもお集まりいただきました。

また、現校友会会長の加藤善次郎先輩は当支部の前会長でしたが、コロナで見合わせていた『加藤善次郎先輩の芝浦工大校友会会長就任を祝う会』を支部主催し、総勢50名にも及ぶ方にご出席いただき、盛大にお祝いすることが出来ました。

今後も、支部の更なる発展、支部会員の親睦を深めるため、魅力的なイベントを引き続き開催していきたいと思っております。



弓道部OB会支部

支部長 長嶺 玉雄 土木工学科 昭和48年卒業

弓道部は昭和40年に同好会として創部された58年の歴史のある部ですが、校友会支部としては申請が遅く、令和2年に承認されております。

現在はOBの中から監督を選出しており、2021年11月にはOB一期生、昭和44年機械工学科卒下郡慎治監督の長年の現役指導に対して功労賞を頂きました。昨年4月からは弓道部5代目新監督にOB4期生、昭和47年電気通信工学科卒の中場晃（錬士六段）が就任し定期的に大宮キャンパス弓道場（無想館）に出向き現役

を指導すると共に、春夏の合宿の際には五段以上のOB数名と共に指導に出向いている状況です。

本OB会支部は現役指導・交流も大きな目的の一つで有りますので、年1度のOB・OG総会では無想館にて現役との懇親射会を行うと共に、懇親会を行っております。

今後も弓道部OB会支部は現役支援及び母校、校友会の発展に寄与してまいります。



アメリカンフットボール部OB OG会支部 支部長 高橋 和基 機械工学科 平成25年卒業

本会は、「芝浦工業大学アメリカンフットボール部の現役学生の活動を支援しながら、当部に在籍した経験のある者同士の相互交流を図り、大学・校友会の発展に寄与する事」を目的として、2009年に設立され本年で設立14年目を迎えました。会員数は100名を超す組織となっております。

昨年度の主な活動としては、現役への物資支援・試合動画の配信・試合情報のアナウンス・チームグッズの販売・会報の発行・後援会員募集活動・SNSでの情報発信・

試合の審判活動などを行いました。

昨年度は現役学生が2部リーグでの初勝利、リーグ4位という創部史上最高の成績を収め、現役の活動も本会の活動も年々勢いを増しております。

本年度は現役学生への更なる支援の拡充、会員同士の相互交流、その他支援者への多様な価値の提供を行い、大学の更なる発展、飛躍に貢献できる団体を目指して邁進致します。引き続きのご支援の程、よろしくお願い致します。



芝浦建築会支部

支部長 切刀 強 建築学科 昭和51年卒業

工学部建築学科と建築工学科およびデザイン工学部デザイン工学科の建築・空間デザイン領域の2学科1領域は、2017年に統合・再編され、3コース（SA、UA、AP）のある建築学部建築学科となりました。

『芝浦建築会支部』はこれまでの卒業生の会であった「建築会」や「建友会」の活動を継承し、建築学部建築学科の卒業生の会として設立されました。

会の目的は卒業生の近況報告や学部学科内の活動等を発信し、卒業生相互、在学生と卒業生、先生方と卒業生

との関わりが持てる活動を通し、連体感と絆を深め、更なる母校への愛着と誇りが持てる卒業生の拠り所となる会を目指しています。

2022年12月5日に校友会常任委員会に於いて支部設立承認を頂き、2023年6月24日に支部設立総会を予定しています。

校友会支部の一員となります芝浦建築会支部に対し校友会皆様のご理解とご協力宜しくお願い申し上げます。



川崎市役所支部

支部長 篠田 剛 機械工学科 平成元年卒業

川崎市役所支部は、役所内の芝浦工業大学卒業生で構成される校友会職域支部です。

現在約 30 名の会員で活動しております。

現在はコロナ禍で休止しておりますが、毎年、夏に支部総会を開催し、芝浦工業大学と校友会、更に神奈川県支部から来賓をお迎えして、学生時代の話や同窓生との共通の話題で学生時代を思い出すきっかけになっています。近年、20代～30代が中心となり、職場を超えて交流も増え活気のある懇談会を行っており、お互いの交

流を踏まえて、普段、仕事では直接話さない先輩職員との人間関係の構築を含め、仕事へのアドバイスや学生時代の部活・サークル活動にと話が盛り上がります。また、新会員を歓迎する新年会では、お互いの近況を通して新たな出会いもあり、支部内の結束を強めており、今後も更なる会員の交流と親睦を図っていきたいと考えております。

最後に、芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



鹿芝会支部

支部長 増田 孝弘 建築工学科 昭和63年卒業

鹿芝会は鹿島建設およびグループ会社の芝浦工業大学卒業生で構成する職域支部です。会員数は2023年3月現在で152名となっており、例年5～8名の新入社員を新規会員に迎え、役員クラスから新入社員まで幅広い年齢層で活動しています。

主な活動内容は、校友会各種行事への参加、支部総会、就職希望学生へのリクルート支援です。2022年はCOVID19に伴う自粛もやや緩和され、支部総会やリクルート支援は、対面とWeb併用で開催いたしました。Web開催は遠方の会員も参加できるというメリットが

生まれ、今年の支部総会は例年に比べより多くの会員が参加しました。

また、2023年の弊社カレンダーのうち2月は豊洲第二校舎となっております。社内でも特に注目度が高い竣工建物が翌年のカレンダーに掲載されます。それを誇りに感じるとともに、無事に完成しましたことをたいへん嬉しく思います。

最後に、芝浦工業大学のますますのご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



鹿芝会総会 Teams 会議にて

清水建設芝浦会支部

支部長 鈴木 暁 建設工学専攻 平成9年卒業

清水芝浦会は清水建設株式会社に所属する卒業生で構成され、2023年3月現在で約190名が所属しています。新型コロナウイルス感染影響が出始めた2020年から現在までの約3年間で30名以上の新入社員、キャリア入社社員を新規会員に迎えてきました。

2023年4月には10名以上の卒業生が入社を予定しており、年々会員数は増加すると共に若い世代が多く在籍する状況です。

然しながら、新型コロナウイルスの感染防止対策の観点から、例年、毎年1回実施していた定期支部総会並びに懇親会はこの数年中止となり、本格的な支部活動が運営されておりません。2023年度は是非とも支部総会並びに懇親会を開催し、支部内の情報共有を図り活性化したいと思います。最後になりますが、芝浦工業大学の益々のご発展、校友会の方々のご健勝をお祈り申し上げます。



住芝会支部

支部長 鈴木 一巳 電気工学科 平成元年卒業

住芝会は平成14年1月に発足し、今年で22年目となる職域支部です。住芝会の活動としては毎年一度、定期支部総会及び懇親会を行なっております。

しかしながら、長引く新型コロナウイルス感染症拡大を受け、ここ数年は書面形式による審議しかできておりませんでした。そのため、特に2020年以降に加わった新入会員とは顔を合わせる機会も叶わずにありました。先日、新入会員9名を対象に顔合わせ会を実施し、校友会と住芝会運営の主旨についての伝達並びに意見交換

会を行いました。

今後、新型コロナウイルス5類への移行が実現し、以前のような会合や懇親等ができ、情報共有や結束をさらに強化できるようになることを大いに期待しています。

令和4年度は5名の新入会員が加わりました。若い力を借りて校友会活動を更に盛り立てていきたいと思っています。引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



大成芝浦会支部

支部長 石久保 猛 建築学科 平成7年卒業

大成芝浦会は大成建設の芝浦工業大学の卒業生で構成する、校友会職域支部でございます。支部員数は今年3月時点で、建築176名と土木43名の合計219名となっております。

コロナ禍の影響で支部活動はこの3年特に行っておらず、ようやくこの3月9日に東京や埼玉といった首都圏の建築施工メンバー10人で、ささやかな会合を開催しました。

今後は建築施工だけではなく土木、設計、都市開発と

いった社内の各分野の社内同窓社員との情報交換や連携を取っていけるような体制づくりを新年度には手掛けていきたいと考えております。それとともに校友会活動を通じて大学側との繋がりを深めていければと思います。

来たる2023年度は建築施工で3人の新入社員を迎え新たなスタートを切り、社内同窓社員が活躍できるよう且つ大成芝浦会の活性化した活動を今後も継続できるよう取り組んで参る所存でございますので何卒宜しくお願い致します。



竹中芝浦会支部

支部長 高野 直人 建築学科 昭和62年卒業

竹中芝浦会は竹中工務店およびグループ会社の芝浦工大卒業生、退社OB、OGで構成する校友会職域支部です。支部員数は現役世代約150名、OB、OGが約125名です。

当支部は平成14年度設立と会社創立年に比し歴史が浅く、先輩・後輩関係が後になって分かるというケースが目立ちました。支部活動は、年1回総会・新人歓迎を兼ねた懇親会を開催する事、グループ内の風通しを良くする事の2つを柱としています。

支部の会については、ここ3年超に及んだ感染症拡大で開催が難しい状況となっていました。今年は開催方法自体発想転換して盛り上げていきたいと考えています。

(写真は少し以前の集合写真です)

大学も企業も『工』、即ち、ものづくりの精神に基づいてこれからも発展あるのみと心得ます。芝浦工大ならびに芝浦工大校友会のご健勝を祈念致します。



フジタ芝浦会支部

支部長 重富 正昭 建築学科 昭和61年卒業

フジタ芝浦会支部長を務めさせていただいている、重富正昭と申します。支部長歴も4年目に入りますが、これまで3年間の活動はほぼゼロ。コロナ禍が収まった今年度こそは支部長の責務を全うしたいと考えております。

2022年4月に2名の新入社員を迎え入れ、全国102名の支部会員で活動をスタートいたしました。しかしながら、先述のとおりコロナ禍の影響を受け、活動

らしいことは何もできなかったのが実状です。

春からは新しい仲間を2名加えて総勢104名の支部となります。先述のとおり、今年度はこれまでの数年間の分まで活発に活動し、コミュニケーションを図ってまいります。

また、一年よろしく願いいたします。

(掲載の写真はコロナ感染拡大前のものです)



前田芝浦会支部

支部長 黒岩 貴志 土木工学科 昭和60年卒業

前田芝浦会は、前田建設工業株式会社および同関連会社に所属する芝浦卒業生で構成され、2018年度に登録された職域支部です。会員数は、現在90名で新入社員からシニア層までの幅広い年齢構成ですが、ここ10年ほどは新入社員が継続して多く入社していることから、30代半ば以下の若手だけで会員の半数超を占めるという若くて活気のあるメンバー構成となっています。

2022年度も4名の新入社員を迎え、本来であれば例

年以上の支部総会を開催したかったところですが、コロナ禍により大規模な総会および懇親会は3年続けて断念せざるを得ませんでした。来年度は、ぜひ豊洲キャンパスの新校友会館にて開催できればと考えています。

今後も年代・職種を超えた同窓交流の場としつつ、リクルート活動においても芝浦卒業生のつながりをいかして活動の活性化を図っていく所存です。引き続きよろしくお願い致します。



“支部旗” 全国にひるがえる

芝浦工業大学校友会は本年で設立 96 周年を迎えます。

校友会は、地域支部・海外支部・同好会支部・職域支部を合すると全国で 96 の支部数になり、卒業生は国内外のあらゆる地域、会社などで活躍しています。



平成30年全国総会で揚げた支部旗



支部旗

支部旗は、我ら同窓生の旗じるしであり、永遠に芝浦工業大学の卒業生としての誇りであります。

支部総会を連続 4 回開催し、各回 10 名以上の参加者があり、継続して開催されている支部に授与されます。

これから授与される支部のご健闘を祈ります。

芝浦工業大学校歌 CD の販売



「曲目」

1. 芝浦工業大学校歌
2. 応援歌
3. 校歌演奏

指揮：金 洪才

独唱：望月哲也

演奏：新日本フィルハーモニー
交響楽団

「校歌」

作詞：北原白秋

作曲：山田耕作

● CD に関するお問い合わせ先

【芝浦工業大学校友会】

〒135-8548

東京都江東区豊洲 3-7-5 芝浦工業大学内

TEL：03-5859-7980

FAX：03-5859-7981

e-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

●振込先

郵便局：加入者名：芝浦工業大学校友会

口座番号：00160-5-9575

●代金

定価：2,000 円

校友会 常任幹事会 名簿

(役員を除く)

令和4年6月11日 現在
※原則、学部卒業年を表記

常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
中村 宏
土木工学科 昭和37年



常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
永田 昂生
土木工学科 昭和42年



常任幹事・財務委員会
浅野 昌宏
電子工学科 昭和44年



常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
木村 喜有
土木工学科 昭和44年



常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
米澤 稔
建築学科 昭和44年



常任幹事・組織委員会
小野瀬 等
通信工学科 昭和45年



常任幹事・総務・広報委員会
小平 和一郎
電子工学科 昭和45年



常任幹事・例規委員会
谷川 潮
機械工学第二学科 昭和45年



常任幹事・組織委員会
橋本 雅夫
建築学科 昭和45年



常任幹事・事業委員会
植松 恵一
通信工学科 昭和46年



常任幹事・組織委員会
内田 武男
土木工学科 昭和46年



常任幹事・特別委員会
枝広 英俊
建築学科 昭和46年



常任幹事・特別委員会
角野 和明
建築学科 昭和46年



常任幹事・組織委員会
辻村 建
建築学科 昭和46年



常任幹事・組織委員会
前野 和博
工業経営学科 昭和46年



常任幹事・特別委員会
井出 恵尉
工業経営学科 昭和47年



常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
住友 正樹
建築学科 昭和47年



常任幹事・組織委員会
長井 義明
建築学科 昭和47年



常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
増山 栄
建築学科 昭和47年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
赤井 和憲
土木工学科 昭和47年



常任幹事・例規委員会
赤坂 邦雄
機械工学科 昭和48年



常任幹事・総務・広報委員会
佐野 茂彰
機械工学科 昭和48年



常任幹事・事業委員会
高木 光一
機械工学科 昭和48年



常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
柏本 保
建築学科 昭和49年



常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
川本 勝一
建築学科 昭和49年



常任幹事・事業委員会
斎藤 教男
建築学科 昭和49年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
神野 兼次
建築工学科 昭和49年



常任幹事・事業委員会
森本 静
工業経営学科 昭和50年



常任幹事・特別委員会
浅見 勝
建築学科 昭和51年



常任幹事・校友会事務局長
依田 幸秀
金属工学科 昭和51年



常任幹事・組織委員会
犬塚 祥二
建築工学科 昭和54年



常任幹事・組織委員会
関根 良
電気工学科 昭和54年



常任幹事・事業委員会
山田 豊人
電気工学科 昭和54年



常任幹事・事業委員会
田村 稔
建築学科 昭和55年



常任幹事・総務・広報委員会
中根 眞行
工業経営学科 昭和55年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
文倉 辰夫
電気工学科 昭和55年



常任幹事・
特別委員会/選挙管理委員会
筋野 豊司
機械工学第二学科 昭和56年



常任幹事・例規委員会
本間 哲哉
電子工学科 昭和56年



常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
平井 良樹
工業経営学科 昭和57年



常任幹事・
全国総会時地域ブロック総括担当
片倉 隆幸
大学院工学研究科 昭和58年



常任幹事・組織委員会
角田 隆二
土木工学科 昭和59年



常任幹事・組織委員会
本村 雅洋
機械工学科 昭和59年



常任幹事・
特別委員会/選挙管理委員長
佐々木 克則
電気工学科 昭和60年



常任幹事・例規委員会
三好 達朗
機械工学科 昭和60年



常任幹事・総務・
広報委員会/選挙管理委員会
百瀬 和浩
建築工学科 昭和60年



常任幹事・財務委員会
渡辺 通宏
二部機械工学科 昭和60年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
山下 博幸
建築学科 昭和60年



常任幹事・特別委員会
山田 サトシ
建築学科 昭和61年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
内山 毅
金属工学科 昭和62年



常任幹事・総務・広報委員会
藤田 利行
電気工学科 昭和62年



常任幹事・事業委員会
田中 直彦
通信工学科 昭和63年



常任幹事・事業委員会
鶴 浩一郎
建築学科 昭和63年



常任幹事・事業委員会
村島 充裕
建築学科 昭和63年



常任幹事・総務・広報委員会
安藤 吉伸
機械工学科 平成1年



常任幹事・財務委員会
進木 正博
機械工学科 平成1年



常任幹事・特別委員会
福田 栄寿
機械工学第二学科 平成1年



常任幹事・財務委員会
刈谷 義治
金属工学科 平成2年



常任幹事・事業委員会
小宮山 由起江
土木工学科 平成2年



常任幹事・特別委員会
鈴木 洋
通信工学科 平成2年



常任幹事・例規委員会
齋藤 敦史
通信工学科 平成4年



常任幹事・事業委員会
長谷川 浩志
機械工学第二学科 平成4年



常任幹事・事業委員会
安田 俊司
機械工学第二学科 平成4年



常任幹事・例規委員会
土居 和雅
建築学科 平成4年



常任幹事・財務委員会
野城 正人
工業経営学科 平成5年



常任幹事・例規委員会
山口 正樹
電子工学科 平成5年



常任幹事・特別委員会
安藤 毅
建築学科 平成7年



常任幹事・事業委員会
市川 拓
機械工学第二学科 平成8年



常任幹事・組織委員会
坂地 世紀
建築学科 平成8年



常任幹事・特別委員会
伊与田 岳史
土木工学科 平成9年



常任幹事・事業委員会
福井 浩二
工業化学科 平成10年



常任幹事・財務委員会
望月 秀晃
土木工学科 平成11年



常任幹事・事業委員会
吉川 伸也
機械工学科 平成11年



常任幹事・総務・
広報委員会/選挙管理委員会
中川 雅史
土木工学科 平成12年



常任幹事・事業委員会
野元 明俊
二部電気工学科 平成12年



常任幹事・総務・広報委員会
今井 理裕
材料工学専攻 平成14年



常任幹事・財務委員会
中島 毅
材料工学科 平成14年



常任幹事・事業委員会
奥田 耕一郎
環境システム学科 平成15年



常任幹事・総務・
広報委員会/選挙管理委員会
滝下 勇
二部電気設備学科 平成16年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
田口 智大
建築工学科 平成16年



常任幹事・総務・広報委員会
高橋 哲
二部電気設備学科 平成17年



常任幹事・総務・広報委員会
畠山 佳代
環境システム学科 平成17年



常任幹事・財務委員会
西河 洋一
MOT 平成21年



常任幹事・総務・広報委員会
川野 亜希
応用化学科 平成23年



常任幹事・総務・広報委員会
有泉 智貴
生命科学科 平成24年



常任幹事・財務委員会
秋山 力洋
材料工学科 平成27年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
金丸 真奈美
通信工学科 平成27年



常任幹事・特別委員会
増田 純一
材料工学科 平成28年



常任幹事・特別委員会
佐藤 みなみ
材料工学科 平成31年

校友会 相談役・顧問 名簿

令和4年4月5日 現在



相談役
大丸 征史
電子工学科 昭和39年



顧問
滝澤 厚征
建築学科 昭和39年



顧問
雲然 國幸
機械工学第二学科 昭和41年



相談役
金井 昭三
機械工学第二学科 昭和41年



顧問
田口 継道
建築学科 昭和39年



顧問
吉野 巖
機械工学科 昭和43年



相談役
郡司 卓臣
機械工学科 昭和43年



顧問
今村 均
機械工学科 昭和40年



顧問
岩本 行雄
工業化学 昭和44年



顧問
岡本 嘉行
建築学科 昭和34年



顧問
岡本 泰明
機械工学科 昭和41年



顧問
渡辺 碩
建築学科 昭和45年

校友会 支部及び支部長紹介

令和5年4月11日現在

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
北海道	小川 博司	45 工業経営学科
青森	木村 喜有	44 土木工学科
岩手	遠藤 龍一	50 建築工学科
秋田	池田 広志	55 建築工学科
宮城	杉崎 年英	48 土木工学科
山形	川越 進	46 土木工学科
福島	樋口 正人	53 電気工学科
栃木	池田 猛	48 土木工学科
茨城	増山 栄	47 建築学科
群馬	山口 幸治	61 建築工学科
埼玉	吉池 富士夫	51 金属工学科
千葉	金井 昭三	41 機械工学第二学科
東京総支部	谷川 潮	45 機械工学第二学科
多摩	中根 眞行	55 工業経営学科
神奈川	長井 義明	47 建築学科
新潟	臼井 静男	48 土木工学科
長野	北村 武彦	45 建築学科
山梨	渡辺 一郎	46 建築工学科
富山	福井 幸博	H23 地域環境システム専攻
石川	多田 哲則	54 建築学科
福井	永井 弘明	53 建築学科
岐阜	平井 良樹	57 工業経営学科
静岡県同窓会	狩野 行宏	55 工業経営学科
愛知	野村 憲司	58 金属工学科
三重	谷水 佐久也	50 電子工学科
関西	松岡 英治	54 建築学科
鳥取	富本 哲郎	40 電気工学科
岡山	沖本 光昭	45 通信工学科
島根	浅野 正教	45 建築学科
広島	川本 勝一	49 建築学科
山口	福田 隆行	50 土木工学科
香川	田岡 哲也	57 金属工学科
徳島	佐藤 幸好	50 建築工学科
愛媛	児山 均	49 機械工学第二学科
高知	山本 茂和	51 通信工学科
大分	平井 寛行	52 通信工学科
福岡	角 敬之	45 工業化学科
宮崎	長池 正恕	50 電子工学科
熊本	永田 昂生	42 土木工学科
佐賀	山田 清人	48 通信工学科
長崎	藤本 博文	61 工業化学科
鹿児島	小蘭 定夫	48 建築工学科
沖縄	仲西 聰	56 土木工学科
韓国	金 範得	19 土木工学科
台湾	陳 祈龍	H5 通信工学科
タイ王国	野本 利迪	H2 建築工学専攻
上海	照沼 昌弘	61 金属工学科

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
シンガポール	長尾 剛	61 建築工学科
MOT同窓会	西河 洋一	H21 工学マネジメント専攻
機械工学科同窓会	高木 光一	48 機械工学科
よろく会	小寺 貴士	46 通信工学科
芝友会	中村 信夫	43 電気工学科
緑会	井家 良明	35 建築学科
英交会	篠原 俊正	54 金属工学科
黒潮会	岡野 浩一	58 建築学科
二部フナールフォーグ部OB会	伊藤 孝夫	51 二部機械工学科
錬心会	飯島 敏春	54 機械工学科
柔道部OB会	間中 豊(支部長代行)	62 建築学科
ギター部OB会	神野 兼次	49 建築工学科
芝浦技術士会	片桐 勝広	H2 二部電気工学科
硬式野球部OB会	長野 庸平	H16 材料工学科
TBT(鳥人間)OB・OG同好会	安保 知佳	H27 通信工学科
ハンドボール部OB会	井出 恵尉	47 工業経営学科
ソフトテニス部OB会	大木 茂(支部長代行)	50 二部電気工学科
ヨット部OB会	菊池 邦仁	60 金属工学科
スキー部OB会	小川 博司	45 工業経営学科
熱流体力学研究会	富山 博明	57 機械工学科
ラグビー部OB会	山田 豊人	54 電気工学科
サッカー部OB会	福井 武和	H23 機械工学専攻
弓道部OB会	長嶺 玉雄	48 土木工学科
アメリカフットボール部OBOG会	高橋 和基	H26 機械工学科
芝浦建築会	功刀 強	51 建築学科
奥村組芝浦会	坂地 世紀	H8 建築学科
神奈川県庁	村田 淳	H15 土木工学科
川崎市役所	篠田 剛	H1 機械工学科
関電工芝浦会	藤井 和彦	61 土木工学科
京三	岩倉 哲史	58 通信工学科
熊谷組芝浦会	宮澤 守	H3 建築学科
五洋建設芝浦会	柳沢 純一	62 建築工学科
三芝会	土居 和雅	H5 建築学科
鹿芝会	増田 孝弘	63 建築工学科
清水建設芝浦会	鈴木 暁	H9 建設工学専攻
住芝会	鈴木 一巳	H1 電気工学科
大成芝浦会	石久保 猛	H7 建築学科
ダイダン	関口 秀行	63 建築工学科
大日本土木	長谷川 勝己	56 土木工学科
高砂熱学工業	竹内 祥貴	55 電気工学科
竹中芝浦会	高野 直人	62 建築学科
戸田建設芝浦会	古越 仁	55 電気工学科
日比谷芝浦会	岡本 正仁	45 建築学科
フジタ芝浦会	重富 正昭	61 建築学科
不動産建設芝浦会	清水 修司	44 建築学科
前田芝浦会	黒岩 貴志	60 土木工学科

卒業生の皆様へ

公開講座のお知らせ

芝浦工業大学では、本学の教育・研究成果を地域社会に還元し、また学びの場を提供することを目的として、公開講座を実施しています。卒業生の皆さまも学んでみませんか。

対面とオンラインで開催します。
地方や海外からもぜひご参加ください！



生涯学習で「学ぶ楽しさ」

一般の方向けの講座、技術士講座をキャンパスやオンラインで学ぶことができます。
理科や科学を楽しく学べる、子供向け体験講座もあります！



▲ プログラミング講座も開催！



▲ 第一線の芝浦工大の先生が
分かりやすくレクチャー！



▲ 新校舎を見学する講座も
開催予定！



▲ 芝浦工大生が教えてくれる
楽しい子供向け講座！

・大学ホームページ、またはQRコードからお申込みください。
<https://extension-programs.shibaura-it.ac.jp/>

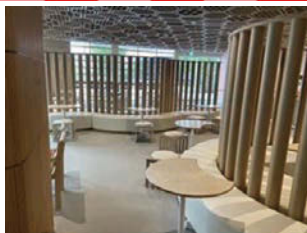
・お問い合わせ：芝浦工業大学 地域連携・生涯学習センター
TEL：03(5859) 7120 E-mail:rcells@ow.shibaura-it.ac.jp

お申込みはこちらから！





銀座シシリア豊洲店



Ginza sicilia toyosu ten

銀座の地にて50年続くイタリアン伝統の味

さて、昨今一般的なピザは、石窯で焼く丸いピザですが、1950年代当時、イタリアでは様々な種類のピザがありました。

中でも、シチリア島のパルレモでは、「スフィンチョーネ」、別名「シシリアンピザ」とも呼ばれ、現在でも四角いパンピザが庶民フードとなっています！

同じ四角いピザでも、「スフィンチョーネ」は、古くからシチリア島パルレモで伝わるストリートフードで狭い厨房でも適度な具材を乗せ手軽に焼く事ができるピザ。

「アルターリオ」は第二次大戦後、ローマで発祥し具材を多く乗せ街中で販売するピザとしての違いがあります。

日本では、この四角いピザは、「本牧ピザ」とも呼ばれ、本牧で有名な食べ物と言えば、真っ先に「四角いピザ」と答える程、街に根付いています。

しかしながら、「なぜ、本牧のピザは、四角いのか？」由来については、本牧の地の「IG（イタリアンガーデン）」開店時のコックがイタリア人の元潜水艦コックで、狭い潜水艦の中では、シチリア島のパンピザを焼き、狭い厨房で面積を大きく使い焼いていた為、と伝えられています。

まさに当店のピザは、シチリア島パルレモに伝わる「スフィンチョーネ」に由来し、日本では「本牧ピザ」を発祥とし、現在も銀座の地にてその味を守るようスタッフは、日々研鑽を重ね、お客様にご満足いただけるよう、努力する毎日を送っています。

・1971年 銀座8丁目 「シシリア」開店：『四角いピザ』
・8丁目ビル取壊しの為堀井克英氏より岡田修が引き継ぎ
2013年 銀座7丁目 「銀座シシリア」開店

2022年9月21日に芝浦工業大学キャンパス内
銀座シシリア豊洲店 オープン

セルフサービススタイルの

カジュアルなイタリアンレストラン

親しい方との乾杯から

立食最大100名様様のパーティまで

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5

芝浦工業大学キャンパス内

☎ 03-5534-8720

予約メール toyosu.sicilia.party@gmail.com

銀座本店で50年続く伝統の味
ナポリタン スパゲッティ



生協のパーティプラン

眺望の良い交流棟3階にて素敵な会をサポートします

貸し切り

Party Plan



ご予算や式次第に応じてご提案致します！
大切なご友人やお仲間と素敵な時間をお過ごし下さい。
日程やメニューなど、お気軽にご相談下さい。

松	竹	梅
1名様 ¥5,500(税込)～	1名様 ¥4,000(税込)～	1名様 ¥3,000(税込)～
フィンガーフード各種 サンドイッチ、マリネ オードブル、ローストビーフ デザート 等 飲料各種 (30名想定)	握り寿司、サンドイッチ ミルフィーユカツ、豚角煮 若鶏黒酢、和風4種盛り デザート 飲料各種 (30名想定)	握り寿司、唐揚げ&ポテト イカリング、塩焼きそば 揚げ餃子&春巻、肉団子 デザート 飲料各種 (30名想定)

【定員】10名～100名 【貸切時間】2時間 【形式】立食・着席

芝浦工業大学生協 豊洲カフェテリア

TEL 03-5859-7920

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 交流棟3階

予約
方法

お電話またはメールにてお問合せください
メール：Hayashi.Yasuo@univ.coop
※ご予約は2週間前までお願い致します



校友会本部事務局紹介

2022年度校友会活動にご尽力いただきありがとうございます。
また、校友会事務局運営にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年9月に芝浦キャンパスから豊洲キャンパスに移り、本年4月より新たに國北圭二さんが事務局に加わり、2023年度のスタートを切らせていただきました。リフレッシュした気持ちで2023年の校友会活動に臨みたいと考えています。

2023年度は3年ごとに行われる校友会幹事・常任幹事の選考や役員の選挙があり、卒業生評議員選考も実地されます。事務局として精一杯努力する所存ではありますが、皆様方のご支援・ご協力も賜りますよう宜しくお願い申し上げます。(依田)

4月から校友会事務局に勤務しています國北圭二と申します。昭和56年3月に機械工学第二学科を卒業し、自動車開発の道を只管歩んできました。65歳となった昨年8月に41年間勤めた会社を定年退職しました。これまで英交会支部で副支部長 兼事務局長を務めてきましたが、校友会本部の事務局となりますと組織規模も格段と大きくなり難しさも拡大します。更に身を引き締めて微力ではありますが校友会の皆様のお役に立てればという所存です。自動車、ヨット、カヤック、キャンプが大好きです。そういった余暇のお話もできたら嬉しく思います。皆様よろしくお願ひいたします。(國北)

新型コロナウイルスもようやく収束し、社会は5月8日からの5類感染症への移行に向けて、対策緩和ムードが高まっていますが、校友会の皆様はじめご一同様はお変わりなくお過ごしでしょうか。

昨年の9月に芝浦キャンパスから豊洲キャンパスへ移転いたしました。高層ビル群に囲まれたキャンパスですが、近所のお子さんたちが集える公園も完備されており、地域一体型の素敵なキャンパスです。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。

最後に、校友会運営に関して、私どもで何かお役に立てることがございましたら、最大限サポートさせていただきますので遠慮なくお申し付けください。

今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。(宮坂・中瀬古)



(写真左から) 中瀬古さん、國北さん、依田さん、宮坂さん

SHIBAURA GOODS

生協で大学オリジナルグッズ販売中です！

芝浦工業大学の校章やスクールカラーのディープグリーンをモチーフとした芝浦グッズを販売しています。

芝浦工業大学への寄付返礼品の中でも人気の商品です！

山田学長の郷里
奈良 五條のお酒です



長陽福娘 山田錦純米酒
720ml 1,430円



五神 純米吟醸 720ml
「山田学長オリジナルラベル」
1,430円

山田学長
ご推薦サイン入り



帝国ホテル カレー 6食セット 4,290円



ナノブロック本部様 2,890円



帝国ホテル スープ詰め合わせセット 4,180円



タンブラー 1,400円
コーヒー 160円

芝浦工業大学生協 豊洲書購買書籍部

TEL 03-5859-7900

〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 交流棟2階

芝浦工業大学生協 大宮購買書籍部

TEL 048-720-6600

〒337-0003 埼玉県さいたま市見沼区深作307

このほかにも
色々あります！

在校生就職支援ご協力をお願い

かねてより各支部から芝浦工業大学の学生が自社にほしいとのご要望を頂いておりました。それを受け、校友会執行部に「在校生就職支援委員会」を立ちあげました。芝浦は就職率が高い大学ですが、就職率 100%にはまだ至っていません。全国卒業生の関連企業の皆様に、求人のご協力をお願い致します。12 月以降の採用もご検討いただけるような、中小問わず企業の校友の皆様へご協力をお願い申し上げます。

具体的な流れとしては、以下になります。

- 1、校友会ホームページから「求人申込書」をダウンロード、記入
- 2、校友会事務局へ提出
- 3、校友会事務局が大学の就職担当者へ提出
- 4、学生の希望があった場合、校友会事務局から企業担当者へ連絡
- 5、学生と企業で出願、選考
- 6、結果を校友会事務局へ連絡

即希望に添えるとは限りませんが、ひろく学生に PR をしたいと考えております。何卒ご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

求人申込書： <http://www.shibaura-koyu.jp/renraku/info.php?id=78>

送 付 先： 〒108－8548 東京都江東区豊洲 3－7－5 芝浦工業大学内

E - m a i l： sitfriends@shibaura-koyu.jp

T e l： (03) 5859－7980 F a x： (03) 5859－7981

例年、芝浦工業大学の学生の就職活動の支援に、ご協力いただき、ありがとうございます。11 月に、本学の校友の皆様にご協力をいただきまして、「OB・OGに聞く！シゴト研究フェア」を開催することができました。社会で御活躍されている先輩のお話を聞く貴重な機会を持つことができました。2 月に、「卒業生企業役員によるパネルディスカッション」を開催することができました。このパネルディスカッションでは、校友会長も含め、本学の校友の中で企業役員をされている方々（5 名の皆様）にパネラーとして御参加いただきました。各パネラーの皆様から、企業役員の立場で、あるいは、先輩の立場で、本学学生の魅力や弱点などを教えていただきました。重役面接や最終面接で、気を付けるべき点なども教えていただきました。「説明会などでは聞けない貴重な情報を得られた」というような感想もあり、本学学生にとって非常に有益なパネルディスカッションになったものと思われます。校友会の皆様のご支援に感謝申し上げます。

編集者・協力者 一覧

順不同、敬称略

◆編集者

芝浦工業大学校友会 総務広報委員会

吉池富士夫（昭和 51 年 金属工学科卒）	中川 雅史（平成 12 年 土木工学科卒）
林田 和雄（昭和 52 年 建築学科卒）	今井 理裕（平成 14 年 材料工学専攻卒）
小平和一郎（昭和 45 年 電子工学科卒）	滝下 勇（平成 16 年 二部電気設備学科卒）
佐野 茂彰（昭和 48 年 機械工学科卒）	高橋 哲（平成 17 年 二部電気設備学科卒）
中根 眞行（昭和 55 年 工業経営学科卒）	畠山 佳代（平成 17 年 環境システム学科卒）
百瀬 和浩（昭和 60 年 建築工学科卒）	川野 亜希（平成 23 年 応用化学科卒）
藤田 利行（昭和 62 年 電気工学科卒）	有泉 智貴（平成 24 年 生命科学科卒）
安藤 吉伸（平成 1 年 機械工学科卒）	

校友会本部事務局

依田 幸秀（昭和 51 年 金属工学科卒）	宮坂 文枝
國北 圭二（昭和 56 年 機械工学第二学科卒）	中瀬古幸子

 理想を形に、 経験を力に  株式会社 理 経 東京都新宿区西新宿三丁目2番11号 新宿三井ビルディングニ号館 TEL. 03-3345-2150 URL. http://www.riкеi.co.jp/	飯田グループホールディングス  株式会社 アーネストワン 取締役 西 河 洋 一 併設 (株)アーネストワン 一級建築士事務所 〒188-0003 東京都西東京市北原町3-2-22 TEL 042-461-6288
 たとえば、テニスやバドミントン。 シングルスはもちろんですが、 ダブルスも魅力的だと思いませんか。 厳密な戦略を立てながら、 互いを助け合う。 コンビネーションが勝利のカギになります。 ダブルスのように、 ヒトとロボットが手を組んだ新しい取り組みが 建設業でも始まっています。 「鹿島スマート生産」。 ヒトとロボットによる、 スマートな生産プロセスが実現していきます。 ヒトとロボットがつくる、新しい建設業へ。 100年をつくる会社  鹿島建設株式会社 代表取締役社長 天野裕正 鹿島建設株式会社横浜支店 副社長執行役員支店長 野村高男	人やまちを元気にする  100th ANNIVERSARY 101年目の「つなげる・つながる設計」へ。 安井建築設計事務所 おかげさまで2024年4月1日に創業100周年を迎えます。
 釜井建設マネジメント株式会社 代表取締役 釜井 重一 (昭和55年建築学科卒) 〒321-0966 栃木県宇都宮市今泉4-16-23 電話: 028-621-0015 携帯: 090-4371-8891 E-Mail: shigekazu_kamai@yahoo.co.jp	インフラ設備を支える プロフェッショナル集団  インフライズ株式会社 専務取締役 小 杉 成 之 (昭和52年 土木工学科卒業) 〒135-0061 東京都江東区豊洲1-3-1 TEL 03-5548-2517 URL https://www.infrase.co.com/
確かな技術と信頼の施工  株式会社 豊 蔵 組 会長 豊蔵 世紀 本社 〒920-0867 石川県金沢市長土堀3丁目13番8号 TEL (076) 263-2231 (代) FAX (076) 261-0464	まず、パートナーとして。 つぎに、エキスパートとして。  株式会社 建 匠 代表取締役 塚 越 浩 之 (S59年 機械工学科卒) 東京都葛飾区西亀有4丁目11番9号 TEL 03-5682-7102 https://www.kk-kensho.co.jp  浅黄 文政五年

いい仕事には、体温がある。



取締役会長 **小川 達生**
(昭和51年 通信卒)

株式会社 **日新コンピュータシステム**

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3
TEL 03-5802-0321
FAX 03-5802-0322
URL <https://www.nisin.co.jp/>

快適な環境づくりに
確かな技術で貢献する

 **住友電設株式会社**

取締役社長 谷 信

<https://www.sem.co.jp/>

 **(株)宮建築設計**

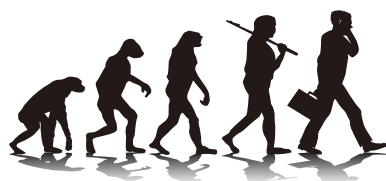
MIYA Architect's Office

代表取締役 **宮 本 博**

昭和47年卒 建築学科
(校友会 徳島県支部顧問)

本 社：徳島市福島 1-5-6 TEL:088-625-5505
東京本店：中央区八丁堀 2-28-10 宮設計ビル TEL:03-6280-3305
<http://www.miyasekkei.com>
E-mail:miyamoto@miyasekkei.com

変わり続けるDNA



 **HEXEL Works Inc.**

東京都港区芝大門 1-1-30 / TEL:03-3459-3366 / URL:<https://www.hexel.co.jp/>



三井住友建設
<https://www.smcon.co.jp>

はしも、
まちも、
ひとも。

橋をわたり、街をあるき、大切な人と過ごす。
そんな日々の暮らしがいつまでも続くよう、
豊かな未来につながるものづくりに全力で取り組みます。



地球環境を大切にする

株式会社 **日本環境設計**

代表取締役社長 **加藤 善次郎**
(昭和55年機械卒)

〒231-0028 横浜市中区鶴町2-9 ファム横浜本社ビル5階
TEL 045-212-2757 (代)
FAX 045-212-2758
<http://www.jtd-me.jp>



世界が求める

「セラミックス原料」
「ファインセラミックス製品」

 **大平洋ランダム株式会社**

〒931-8555
富山県富山市岩瀬赤田町1番地
Tel 076-438-1211
Fax 076-438-8667
<http://www.rundum.co.jp/>

株式会社ハリマビシステム

代表取締役会長 **鴻 義久**
(昭和47年土木工卒)

人、街、社会、地球に優しい空間づくり
ビルの総合管理 PPP/PFI事業



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



造園会社です お困りの方はご相談ください



株式会社 アカネ

代表取締役 **金子 和平**
(昭和44年 経営工学科卒)

造園工事部門、メンテナンス・指定管理部門、調査・企画部門、就労支援部門

〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目3番15号
TEL:03-5473-9344 FAX:03-5473-9345



<https://akane-green.co.jp/>

各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス



三宝電機株式会社
SEAMEC Sampo Electrical And Mechanical Engineering Corporation
<https://www.seamec.co.jp>

最適環境空間を最新の技術でお届け致します

【東京支店】東京都港区西新橋3-8-3
ランディック新橋ビル5F
TEL: 03-5472-3311

本社、大阪本店、名古屋支店、西日本支店

ここで創る

豊かなまち

輝くみらい



株式会社 **丸西組**

代表取締役会長
西 正次
(1974年卒業)

専務取締役
高塚 慎
(1999年卒業)

〒923-0811 石川県小松市白江町ト 121-1
TEL:0761-22-6100 FAX:0761-22-6123



axona AICHI

ー集いと学び空間をデザインするー

愛知株式会社東京本部

〒104-0033

東京都中央区新川1-17-25東茅場町有楽ビル1F

TEL: 03-6222-0816 FAX: 03-3555-0016

URL: <http://www.axona-aichi.com>

私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまいります。



あしたを、つなぐ
野村不動産パートナーズ

〒163-0562 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

新宿野村ビル8階

教育施設事業一部 TEL03(3345)0672

<http://www.nomura-pt.co.jp>

SANKEN
ENVIRONMENTAL ENGINEERING



人と空気と水の
環境創造。

<https://skk.jp/>

三建設備工業

TECU

世界初の多能式自動券売機を開発
(日本機械学会 機械遺産「第50号」認定)
交通システム機器のパイオニア

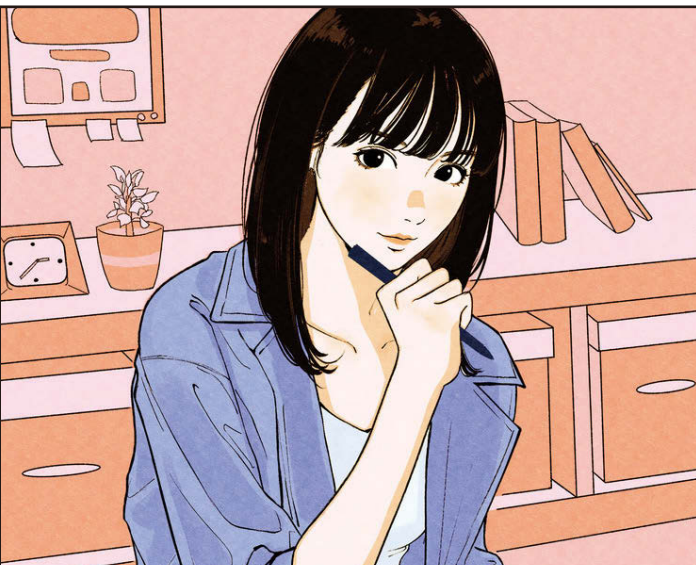
株式会社高見沢サイバネテック

代表取締役社長 高見澤 和夫

〒164-0011 東京都中野区中央2丁目4番5号

TEL 03-3227-3361

URL <https://www.tacy.co.jp>



芝浦工業大学校友会様との提携講座をご用意しています
建築士 / 宅建 / 建築施工管理技士 / BIM入門講座

詳細・お申込は 芝浦工業大学校友会ホームページからお願いいたします

株式会社建築資料研究社 **日建学院**



大学の「知と技術」を社会のために。

大宮キャンパス 正門



学校法人芝浦工業大学 事業法人

株式会社エスアイテック

代表取締役 **中本 仁**

お仕事紹介・転職支援をお手伝いします

技術人材募集・登録受付中

エスアイテック

検索



TEL : 03-5859-7930 (金澤・澤中)

URL : <https://www.sitech-jp.com>

“喜び”を実現する企業グループ
戸田建設



PÂTISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA

株式会社 原田

代表取締役 原田 義人

〒370-1301 群馬県高崎市新町1207

TEL 0274-40-3331 FAX 0274-40-3341

まちの「顔」をつくる

AGB



永い歴史と経験に培われた技術力で

皆様のご期待に沿えますよう全力を尽くして参ります

ハヤシレピック株式会社 旧林時計工業(株)

本社 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1丁目28番3号

TEL : 03-3918-5237 URL: <http://www.h-repic.co.jp>

- 第1事業部 ルミナーエース(光源), LED照明, 電動ドライバー
- 第2事業部 ペルチェ電子クーラー, デジタル温度調節器
- 第3事業部 半導体組立, 厚膜印刷
- 第4事業部 同軸コネクタ, ケーブル, スイッチ, センサー, チェンバー
- 第5事業部 パーツフィーダー, 省力化装置, プレス部品, 各種組立作業

連絡先: 安田俊司 平成4年機械二科卒

s-yasuda@h-repic.co.jp

校友会相談役 金井昭三 昭和41年機械二科卒

sho-kanai@sky.plala.or.jp

株式会社
TAW建築設計事務所



代表取締役 渡辺 碩
昭和45年建築学科卒

〒111-0042

東京都台東区寿3-3-2

TEL: 03-3841-7368 FAX: 03-3841-7107

E-mail: taw@mvd.biglobe.ne.jp

空気調和・給排水・冷凍冷蔵
設備の設計・施工・保守



〒143-0023 東京都大田区山王2丁目5番9号

TEL 03-6429-3600

不二熟学工業株式会社



新日本リフォーム株式会社

- 大規模修繕工事 ●耐震補強設計・補強工事
- 給排水・空調設備工事 ●原状回復工事
- 個人宅リフォーム・リノベーション工事

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-3-13 三建室町ビル 4 階

TEL:03-3241-8814 FAX:03-3270-1538

URL:<http://www.sn-reform.co.jp/>

担当: 渡辺祥一

KOKUYO

ひらめき・はかどり・ここちよさ

コクヨマーケティング株式会社

〒100-6018 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング18階

いつもを、幸せに。

LIXIL

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL <https://www.lixil.co.jp/>



Garden Group
<http://www.garden-g.com/>

私たちガーデングループは
“グリーンコミュニケーション”
をキーワードに緑化事業を展開しています。

■東京オフィス
〒135-0033 東京都江東区深川二丁目8番16

■株式会社豊橋園芸ガーデン ■株式会社ティーエージー
■株式会社ガーデン知多 ■株式会社ガーデンアクア

代表取締役会長 柳原 周造 (1970年 建築工学科)



加工開発のメーカーです。
セラミックスの加工は
当社へご相談ください。

会長 小貫 諭

(1975 工化卒 1977 修士修了)

群馬セラミックス株式会社

〒375-0055

群馬県藤岡市白石1444

Tel 0274-22-2096 Fax 0274-24-4974

<https://www.guncera.co.jp>



H02 工化卒
伊藤 博之

ワインバー・ワインの小売販売
ワインの通信販売、全国発送可能

「男と女のワイン術」
伊藤博之・柴田さなえ著
日本経済新聞出版社刊



わいん厨房
たるたる

予約用アドレス: tartarwine@gmail.com
営業時間: 月曜PM 6:00~PM 2:00 (土曜PM 3:00~)
東京都中央区銀座8-12-1セイコー銀座ビル2F TEL:03-5565-9898

研究成果を『西河「技術経営学」入門』
に整理し、芙蓉書房から出版。

西河 技術経営学 入門

アーネスト育成財団・編集
西河洋一・小平和一朗 著
浅野昌宏・杉本晴重

経営人財の育成に取り組む
西河技術経営塾の真髓が
この一冊に!

経営戦略論やマーケティング理論などの中から、
経営経験に基づいて実践的に使える知見をわかりやすく整理

「技術経営学」は、あらゆる経営者にとって重要な基礎知識であるにも関わらず、学問化が遅れている。「経営学」があっても、「技術経営学」は見当たらない。経営に関する知識がない大学の学生が本書を読めば、経営における技術の役割が理解できることに狙いを置いている。時代を超えることができる知識の集積化であり「技術経営学」の体系化を目指している。
本書「著者の実学、教示経験が結集した名著」と評価されました。(全365頁)

(定価2,800円+税)

技術経営人財の育成と活用

一般財団法人

アーネスト育成財団

理事長 西河 洋一

東京都渋谷区代々木

1-57-2 ドルミ代々木704号

TEL (03) 6276-6260

<http://www.eufd.org>

《顧客の利益を最大化する》

N 中島建工株式会社

代表取締役 中島道宏

本社 さいたま市浦和区領家5-12-20 TEL:048-886-8877



総合建築工事
リニューアル工事
建物耐震工事
専門工事



<http://www.nakajimakenko.co.jp>

BADGE & MEDAL
FACTORY

NAKAJIMA KISHO Co.Ltd.

since 1918

有限会社 中島徽章

代表取締役 中島博行
(昭和60年 金属科卒)

〒111-0036 東京都台東区松が谷2-16-3
TEL 03-3844-2207 Fax 03-3845-5005

おかげさまで100周年
高砂熱学

代表取締役社長COO 小島和人

〒160-0022

東京都新宿区6-27-30

電話 03-6369-8212

 電気の仕事は、自分たちのためにするものではない。それが東光電気工事の心意気です。私たちはこれからの技術者を、人と社会のために力を尽くしてまいります。 創業1923年  東光電気工事株式会社 〒101-8350 東京都千代田区西神田一丁目4番5号 TEL: 03-3292-2111 www.tokodenko.co.jp	Kinden きんでん 東京支社 執行役員 支社長 石藤 清孝	 株式会社 遠藤製作所 (昭和43年卒 機械工学科) 代表取締役社長 遠藤 亘持 ENDOH NOBUYOSHI 〒362-0058 埼玉県上尾市上野537番地 TEL.048(725)2061(代) FAX. 048(725)2063 E-mail: info@endohss.com http://www.endohss.com
人を想い、場を創る。 OKamura https://www.okamura.co.jp/ 株式会社オカムラ 首都圏営業本部 日本橋支店 〒104-0031 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー 11階 TEL:03-3246-2411 FAX:03-3246-2419	 日本通運株式会社 関東甲信越ブロック ロジスティクスビジネスユニット 移転引越第二営業部 秋葉原事業所 〒114-0013 東京都北区東田端2丁目15番8号 連絡先 03-5901-9022 URL http://www.nittsu.co.jp	
消防用設備施工保守管理 赤城工業株式会社 東京都板橋区氷川町43-4 TEL 03(3963)3711(代表)	おかげ様で60年  皆様の安心・安全を乗せて... 関東自動車株式会社 TEL : 048-831-2611 URL : https://www.kanto-m.co.jp	 飛島建設 こんな未来があったんだ 飛石によって絶滅した恐竜はこう思っている かもしれない。「人間も、僕たちと同じ道をたどるの?」と。 今、地球では早急に対応しなければならぬ社会課題が山積みです。 しかし、その課題は飛島のように受け入れられないものではなく、 一人ひとりの取り組みによって解決できるものなのです。 トビシマはDNAであるイノベーションマインドを原動力とし、 サステナブルな社会の実現に向けて、果敢に挑み続けていきます。 恐竜と買い物を楽しむ、そんなワクワクするような未来を創るために。 トビシマはイノベーションマインドをもって、社会課題を解決し、 100年後も人々が豊かに暮らし続けられる社会を創造していきます。 
建築とまちづくり アルセッド建築研究所 代表取締役 所長 三井所 清典 代表取締役 副所長 大倉 靖彦 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目20番1号 電話 03-3409-4532 FAX 03-3409-3394 https://www.alsed.co.jp	 明日の「働く」を、デザインする。 株式会社イトーキ 東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング https://www.itoki.jp/	
 KIMURA あおもりの未来へ、エールをおくろう。 総合建設業  株式会社 木村建設 代表取締役 木村 喜有 (昭和44年土木工学科卒) 〒030-0902 青森県青森市合浦二丁目19番21号 TEL : 017-741-5244 FAX : 017-741-5230 URL : http://www.kimken.co.jp/	 WitteiLife 株式会社ニッテイライフ 不動産建設 芝浦会 代表取締役 佐藤 隆之 (H2工業経営 卒) 本社 東京都新宿区新宿6-28-7 新宿イーストコート3階 〒160-0022 TEL.03-4589-6911 FAX.03-4589-6312 高円寺支店 東京都杉並区高円寺南4-26-16 芦野ビル3階 〒166-0003 TEL.03-6383-1771 FAX.03-6383-1882	電気通信設備工事・電気工事のことならお任せ下さい お客様の多様なご要望に対し 何事にも安全・迅速にお応えできる技術集団です IZUMIコミュニケーションサービス株式会社 代表取締役 大橋 晃 (昭和56年 通信工学科卒) 〒144-0052 東京都大田区蒲田一丁目7番10号 IZUMIビル TEL: 03-5714-0692 FAX : 03-5714-0696 URL http://www.y-jet.co.jp

NIKKEN

EXPERIENCE, INTEGRATED

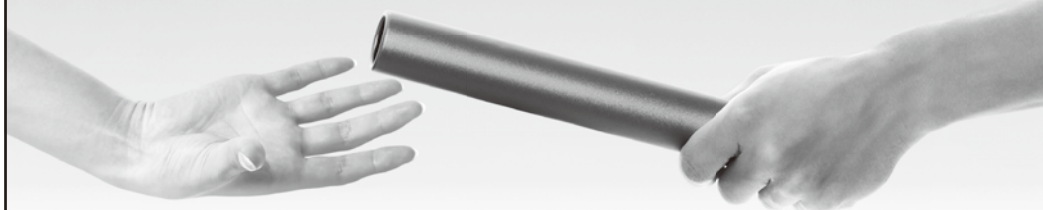
日建設計

代表取締役社長 大松 敦
東京都千代田区飯田橋2-18-3 Tel. 03-5226-3030
<https://www.nikken.jp>

SMBC
三井住友銀行
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

SDGsで、未来をつなぐ

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、持続可能な社会の実現に取り組みます



SUSTAINABLE GOALS

世界も安心するための17の目標



SDGs (Sustainable Development Goals) とは

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた包括的で持続可能な社会の構築を目指す「持続可能な開発目標」のことです。

持続可能な地球環境	安心して暮らせる社会	活力のある経済活動
関連する主なSDGs 主な取組 ・再生可能エネルギーの普及支援 ・自然災害リスクモデルにもとづくコンサルティング	関連する主なSDGs 主な取組 ・健康づくりの支援 ・先進技術を活用した利便性の高いお客さま対応	関連する主なSDGs 主な取組 ・次世代モビリティ社会への対応（自動運転車等） ・災害に強いまちづくりの支援

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会®をめざします。

※外部環境にしなやかに対応する、持続可能な社会

豊かな環境をクリエイトする



総合電気設備工事

扶桑電機株式会社

代表取締役 鬼嶋 一司

本 社 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-12-8
〒222-0033 ☎045-472-0201(代)
東京支店 東京都渋谷区本町 2-16-4 扶桑東京ビル
〒151-0071 ☎03-3376-1444(代)
<http://www.fuso-denki.co.jp>



「目指すは
冷間鍛造技術日本一」



経済産業省 戦略的基礎技術高度化支援事業 採択企業

代表取締役社長 土田 雄一郎

住所：岐阜県各務原市金属団地68番地
TEL：058-382-7171

丸嘉工業

絆を大切に
経営コンサルタント

代表 CEO
吉池 富士夫 YOSHI-IKE Fujio

株式会社吉池事務所 Office YOSHI-IKE Corp.
Mobile: 090-1995-6684
E-mail: yoshiikef1@gmail.com

TOMORROW CREATE CONSULTING

校友会副会長 埼玉支部長
昭和 51 年金属工学科卒

建物を育て 未来へつなぐ

竹中工務店グループ
TAKENAKA

アサヒファシリティズ

建物管理／保険代理

本 社：〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目3-3
TEL.(03) 5683-1191

営業拠点：札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・京都・神戸・高松・広島・福岡

日本タクシーアワード
接客部門グランプリ受賞



(株) ハートフルタクシー
エリア：海老名市・綾瀬市・座間市
配車センター：046-292-3336
タクシーアプリ(GO)利用可



UCHIDA

内田洋行

高等教育事業部
〒135-0016
東京都江東区東陽2-3-25
TEL 03(5634)6292
FAX 03(5634)6861

KOTOBUKI SEATING



コトブキシーティング株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-2-1
<https://www.kotobuki-seating.co.jp>

芝浦工業大学卒業生のおよそ3人に2人が総合資格学院で合格を勝ち取っています！

総合資格学院は
1級建築士合格実績

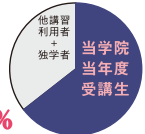
No.1

令和4年度 1級建築士 設計製図試験 卒業学校実績

芝浦工業大学卒業生 当学院合格者占有率

芝浦工業大学卒業合格者数 96名中 / 当学院当年度受講生 62名
(令和4年12月26日現在)

64.6%



他の追随を許さない唯一無二の
「講習システム」と「合格実績」

令和4年度 1級建築士 学科+設計製図試験

全国ストレート
合格者占有率

57.9%

全国ストレート合格者1,468名中/
当学院当年度受講生850名 (令和4年12月26日現在)

令和4年度 2級建築士 学科試験

当学院基準達成
当年度受講生
合格率

95.0%

全国合格率42.8%に対して

8割出席・8割宿題提出・総合模擬試験正答率6割達成
当年度受講生498名中/合格者473名 (令和4年8月23日現在)

令和4年度 1級建築士設計製図試験 全国合格者3,473名中、当学院当年度受講生1,819名 全国合格者占有率52.4% (令和4年12月30日現在)

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 ※全国合格者数・全国ストレート合格者数・卒業学校別合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、令和4年度1級建築士学科試験に合格し、令和4年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※卒業学校別実績について総合資格学院の合格者数には、「2級建築士」等を受験資格として申し込まれた方も含まれている可能性があります。



法人サポートサービス

- ▶ 育成オリジナルプラン作成
- ▶ 各種合格ガイダンス
- ▶ 新卒採用支援
- ▶ 模擬試験・社内講習会 他

企業の将来を担う、
若手技術者の育成に
ご協力いたします。



学校・学生サポートサービス

- ▶ 学生向け建設情報誌の発刊
- ▶ 建設業界就職セミナーの実施
- ▶ 建設系イベント・大学・研究室支援
- ▶ 新卒就活サイト【総合資格navi】

総合資格学院は
全国の建設系学生を
応援しています。

法定講習 一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/監理技術者講習/第一種電気工事士定期講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習

1級・2級 建築士

構造設計1級建築士
設備設計1級建築士

建築設備士

1級・2級
建築施工管理技士

1級・2級
土木施工管理技士

1級・2級
管工事施工管理技士

宅地建物取引士

インテリア
コーディネーター

賃貸不動産
経営管理士

▶ 芝浦工業大学校友会を通じて講座へとお申込みいただくと特別価格にてご案内いたします



総合資格学院

スクールサイト www.shikaku.co.jp
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp



新宿校 TEL.03-3340-5671
池袋校 TEL.03-3982-8211
上野校 TEL.03-3832-7201

五反田校 TEL.03-6408-9711
吉祥寺校 TEL.0422-23-6011
立川校 TEL.042-524-7841

北千住校 TEL.03-5284-3911
町田校 TEL.042-724-3061

Twitter ⇒「@shikaku_sogo」 LINE ⇒「総合資格学院」で検索!

校歌

旧校歌

第二応援歌

山田耕柞 作曲
北原白秋 作詞

須川政太郎 作曲
有元 史朗 作詞

●荒波浴びる

荒波浴びる芝浦に
そびゆる工大わが母校

伝統ここに五十年

文化の渦潮導きて

静穩精進に敵はなし

おお芝浦エンジンア

一、朝日に輝く 風と潮

雄大 空あり 雲は移る

仰げよ校旗の 翩翻たるを

白亜の殿堂 ここに聳え

われらが工学 英気鍾む

芝浦 芝浦 われらが母校

二、世紀に脈うつ 熱と理性

剛健 矩あり 常に鍛ふ

行へばがらに 澆刺たれや

師弟の純情 一に依りて

磨くにこの技 神に通ず

芝浦 芝浦 われらが母校

三、永遠に栄ゆく 意思と秩序

誠実 ただあり 道は徹る

夢むな空理の 漠々たるを

精微をきはめて 事に即かば

工学日本 大を成さん

芝浦 芝浦 われらが母校

一、巨鯨潮吹き鵬の舞つ 大えいの水洋洋乎

旭陽つけて天そそる 不二の高嶺に雪白く

関東の野に麦萌ゆと 雲雀天に告げんとす

二、東京湾頭波もなく 墨水流れ鷗浮く

都の枢要地を占むる 工の業の学び校の

林は繁しいや栄え やがて花咲き実を結ぶ

三、科学の世界工業の 進歩やまこと驥々乎

先人夢に見しところ 今や現実に現ぜられ

今人夢に見るところ 明日将に実現す

四、曲学阿世時得とも 夕を待たで凋み散る

槿花一朝の栄えあり 真理に立てる学にして

まことの学の權威あり 学の独立守らでや

五、世界文化に貢献し 人類の平和招くべく

太古バビロンに夢むてふ バベルの塔を築くこそ

学徒の荷う務めなれ 我等の懐く望みなれ

六、キイツはいいぬ美しき ものこそ永遠のかんきなれ

趣味実用を兼ね備つ 美の殿堂を築くべき

使命は重しわが肩に 望みは高しわが胸に

一、雄図秘めし若人の

胸高鳴るや いかにせん

芝浦健児 ここにあり

正々堂々 たたかわん

最後に取るは 勝利なり

芝浦 芝浦 芝浦

二、鍊磨の日々ぞ 涙あり

聞けよ王者の おたけびを

芝浦健児 ここにあり

正々堂々 たたかわん

必ずとるは 勝利なり

芝浦 芝浦 芝浦



芝浦工業大学 校友会



校友会ホームページはこちら
<http://www.shibaura-koyu.jp/>